

なぜ泣くのか、語れ。

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1963年07月14日 午前

1 主はあなたを祝福します!頭を下げて、しばらく立ったままにしましょう。特別なリクエストはありますか? もしあるならば、神に手を挙げてそれによって「主よ、あなたは私の必要性を知っています」と言ってそれを知らせてください。

2 天のお父様、私たちは確かに、今朝、神の家に集められた特権を持つ人々です。今朝、神の家にいたい人がたくさんいて、病院で病床にいる方がいるのを知っています。そして、あなたは今日ここにいる特権を私たちに与えてくださいました。主よ、私たちはお互いに会うために来ることは決してありませんが、私たちはお互いの交わりを愛しています。しかし、私たちは自宅でそれを行うことができました。しかし、私たちはここに来て、愛する子供たちと兄弟として私たちと一緒にしてくださった彼との交わりを持つために来たのです。

今あなたに感謝します。そして、あなたと正しい交わりを持つために私たちが知っている唯一の方法は、あなたの言葉の周りで持つということにあります。あなたの御言葉は真理です。私たちは霊的な強さのためにここに集まっています。主よ、私たちにはそれが必要です。私たちが負う十字架に耐える力がなければなりません。そして、私たちはあなたが今日偉大なる聖霊を送り、私たち全員を強めるて下さるように祈ります。あなたがたが集まってあなたに手を上げたとき、彼らがそのようなものを必要としているあなたの民に彼らの要求を与えてください。主よ、各人に答えて下さい。

3 私たちは昨夜、ここへの道での事故でアングレン姉妹の命を救って下さったことのゆえにあなたに感謝します。主よ、あなたは彼らに親切でした、そしてあなたにそのことを感謝しています。そして今、私たちは天のお父様、あなたが私たちと共におられ、私たち一人一人が旅するとき私たちを助けて下さるよう祈ります。私たちにあなたの根底にある力と、あなたの滅びることのないご臨在が私たちと共にいることを知っているという信仰を与えてください。私たちが自分自身を助けることができないその時に、私たちは「神の天使たちは彼を恐れる人々の周りに陣をひいて守られます、そして私たちが石に足をぶつけるときはいつでも彼らは私たちを支えて下さる」と知っています。そして、私たちは今、あなたが御言葉のために祝福を私たちに与え、私たちを通して私たちの中でイエス・キリストの御名によって語るができるように祈ります。アーメン。

4 外の太陽の光、太陽が輝いていることに感謝しています。今朝はとても悪かった。そして、私はこの国では、特に、私たちは非常に暗くてじっとりとした天気になっていると思います。そして、太陽が輝いて出てくるのを見るのはとても良いことです。

今日の小さな家族の再会、私は私の兄弟たちに会いました、そして彼らは私の妹の家にあります、そして都市と周りの私たちの関係のいくつか。ブランナムの大きな集まりがあります。もし彼ら皆がケンタッキーから一緒に来るなら、ここでは、私たちは町を借りなければならないでしょう。それほど多の彼らがいるのです。しかし、ほんの少しの帰郷。私たちは以前、皆、ママの家で会っていました。彼女は私たちと一緒にしてくれた古い結びつきの柱でした、親切でした。しかし、神は天国へその結びつきの柱を連れて行きました、そして私は皆がいつかそこで会うことを望んでいます。

5 そして今、私は先日話しました、「あなたが知っているように、私は日曜日のメッセージを約20分に短縮し、そしてまたは30分に、そして病人のために祈ることにすることを信じています。」そして私は今朝それを考えていました。

そして、昨夜、ダウニング姉妹が私に電話して言ったとき、ビリーに電話をして、彼女とウングレン姉妹が彼らの道を上って来たときに、道を横切って、大破があったと言って来ました。そして、ビリーがまだ窓の所にいた時、私はそれが何時だったかわかりません。たぶん今朝のいつかです。私はかなり少しの間眠っていました。ウッド兄弟を見下ろしましたが、明かりは消えていました。そして私はただひざまずいて祈りました、そして私がそうしたとき、何か私に「それは大丈夫だ」と言いました。それで私はビリーに言いました、「彼女に「すべて」と言いました、「大丈夫になると思いました」。私は今朝彼らを見て、そして道にいた後でここに戻って主の家に座っているのを見てとても嬉しいです。

そんなにあなたを愛している人々が、福音を聞くために何百マイルもやって来ると、私は「20分のメッセージ、そして私と同じくらい遅くても、それらは良くないだろう」と思いました。だから、私は…それだけ長くなると思っていました。

それで、今朝、彼女の息子であるアングレン兄弟が「なんと素晴らしいあなた」を歌っているのを聞きました。彼は…彼は今朝それが昨日の午後よりも彼に多くのものを意味します、なぜなら天の偉大な神が彼の

貴重な最愛の母と妹を守られたからです。

6 さて、今日、私たちは主での素晴らしい時間を期待しています。そして、私はここに私が見ていた2つか3つの異なるテキストを持っていました、そして私は今朝どれを話すかを理解することができませんでした。それらの一つは、「神はあなたがたをかえりみて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。さて、もし彼が顧みて下さるなら、あなたは どうしてしないのですか?」

それで、別のもの、ビリーポール、またはビリーポールではない…私のもう一人の息子、ジョセフはずっと前に私にこのテキストを持ってきました。彼はある日部屋に座っていました、そして彼は絵の方を見上げて言いました、そしてビリー…または、ジョセフは小さな男の子のようにボートが大好きです。ボートと馬ですね。そして彼は私に言いました、「パパ、イエス様はボートを持っていましたか?」

そして私は「分からないな」と言いました。

7 それで、彼が立ち上がって出て行った後、私はたまたま「彼はボートを持っていたのだろうか?」と思いました。そして、私はそれからテキストを取り、ここに私の本に「イエスはボートを持っていたか?」と書き記しました。そして、たまたま考えました。彼が地上にいたとき、彼は生まれる子宮、埋葬される墓、説教する船を借りなければなりませんでした、彼はシオンの古い船の船長です。確かに、彼は持っています。しかし、そして私が考えていたそれらのテキストは、私たちが戻って行く前に、後でそれらを手に入れることができるかもしれないと考えていました。

ご存知のように、私はこの幕屋で話すのが好きです。それは私たち自身の教会だからです。私達は聖霊が言われることが何でも言える自由があるように感じています。他の場所では、その男性があなたを歓迎したいと感じて欲しくても、あなたが誰かほかの人の教会にいて、彼らを尊重するのに十分な紳士になりたいので、少し窮屈に感じます -彼らの考えと彼らの教義。

8 今週はバーチャム兄弟の家で素晴らしい時間を過ごしました。そして、私は彼らがチーズを作った工場に行きました。私は彼と彼の妻、そして息子と彼らが今朝そこにいるのを見ます。そして、チーズ工場は私が行った他の場所のようなある種べたべたとして汚いようなところだといつも思っていました。さて、一つ言えるのは、間違いなく安心してください、その場所は全く汚くありませんでした。それは私が今まで行った中で最もきれいな場所で、特に工場の中ででした。そして、私は認識していませんでした。ああ、多分彼らは一日に100ポンドのチーズを作ると思っていました。そして、彼らは毎日6トンを作り、3つの工場が動いているのです。私は「ああ、何という事、あのチーズをみんな食べるの?」と思いました。

しかし、主はこの人を祝福されました。私は彼の家、とても素敵な家、奉獻された立派な妻でいる特権がありました。そして、彼らがしているように、彼らが毎日キリストのために生きるべきではない理由はありません。彼の息子達に会いました、そして彼らはとても素晴らしい子供達です。私たちはこの交わりにとっても感謝しています。

彼らの元牧師は私の知っている人で、元ユナイテッドペンテコステ派の信仰にいた立派な方で数年前にアーカンソー州のジョーンズボロであった、ガーレイ兄弟だと分かりました。そして、しかしながら、彼らが…彼の牧師であることを知りませんでした。

9 さて、今晚の礼拝を覚えて置いて下さい。そして、御心ならば、次の日曜日に再びお話ししたいと思います。そして次の日曜日はシカゴに行かなければならないと思います。それからしばらくの間、家族を家に連れ帰るか、アリゾナに戻って、子供たちが学校に再び入学できるようにする必要があります。そして、私たちは牧師を困らせるのをやめ、彼の礼拝を受けました。

ですから、ネビル兄弟が私を招待して下さったことに対するおもてなしに非常に感謝しています。そして、彼はそうです、いいえ…私はある男性は狡猾さも利己的でもない兄弟で、それこそがまさに純粹なるクリスチャンです。私はそれが好きです。

10 さて、これからいくつかの聖句を読み、コメントを渡します。そして、私はこれらの長いメッセージで私たちがいつ出るかは分かりませんが、思うに…私は先日、あまりにも長い間話していることについて話していました、そして誰かが言いました、「さて、あなた、もしあなたが数分話ただけなら。とにかく、あなたはある種の奥義の中で話しています」と言いました。「私たちには、それを理解することはできません。」「話を続けて下さい、しばらくするとそれが出てくる」と彼は言った。だから、おそらく主はそうにしてほしいと願っておられるのです。

それでは頭をもう一度垂れましょう。

11 主よ、御言葉は説教壇に開いて置かれています、いつかそれがそれが最終的に閉ざされることに気づくと、御言葉は肉になります。そして、私たちは今朝、この時間に感謝しています。そして、あなたの聖霊によって、私たちが読むこのみことばの内容を私たちに開いてください。聖霊が今日私たちが知っておくべきことを教えてください。そして、そのお返しに、私たちはすべての言葉に注意深く耳を傾け、それを深く重く受け取ります。そして、テープを介して聞いている人たちが、近くで聞くようにして下さい。そして、聖霊が私たちに明らかにしようとしているものを理解することができますように。私たちが理解しているように、もし彼が私たちに油を注がなければならないなら、その油注ぎは無駄ではありません。それは目的のためであり、それは主のためによりなるかもしれません。そして、私たちの心と理解が開かますように、主よ。

私たちが話す自由、そして聞く自由、そして信仰へのアクセスを私たちが聞いたものを神の言葉から来るものとして信じる自由を持てますように。来るべき大いなる日に、私たち永遠のいのちに数えられますように。今日私たちを祝福してください。私たちが間違っているときに私たちを非難して下さい。私たちの欠点を教えてください。そして、私たちが正しいことをしている方向で祝福し、私たちがこの現在の世界でどちらに行くべきか、そしてどのように行動するかを知らせて下さいますように。私たちがここでの生活において、これからの偉大な命を私たちに与えるために死んだイエス・キリストに名誉をもたらすことが出来ますように。これをイエスの御名でお願いいたします。アーメン。

12 さて、今朝、聖書から2か所だけを読みたいと思います。そしてそのうちの一つは出エジプト記からです。率直に言って、彼らは両方とも出エジプト記からです。一つ目は13章の21節と22節。そして次は14章の10節、11節、12節です。では、出エジプト記13:21から読みます。

主は彼らの前に行かれ、昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らを照らし、昼も夜も彼らを進み行かせられた。

昼は雲の柱、夜は火の柱が、民の前から離れなかった。

さて、出エジプト記14章で10節です。

パロが近寄った時、イスラエルの人々は目を上げてエジプトびとが彼らのあとに進んできているのを見て、非常に恐れた。そしてイスラエルの人々は主にむかって叫び、

かつモーセに言った、(ごめんなさい)

かつモーセに言った、「エジプトに墓がないので、荒野で死なせるために、わたしたちを携え出したのですか。なぜわたしたちをエジプトから導き出して、こんなにするのですか。

わたしたちがエジプトであなたに告げて、『わたしたちを捨てておいて、エジプトびとに仕えさせてください』と言ったのは、このことではありませんか。荒野で死ぬよりもエジプトびとに仕える方が、わたしたちにはよかったです」。

私はさらに数節を読みます。

モーセは民に言った、「あなたがたは恐れてはならない。....

ここをしっかりと聞いてください。

モーセは民に言った、「あなたがたは恐れてはならない。かたく立って、主がきょう、あなたがたのためになされる救を見なさい。きょう、あなたがたはエジプトびとを見るが、もはや永久に、二度と彼らを見ないであろう。

主があなたがたのために戦われるから、あなたがたは黙していなさい」。主はモーセに言われた、「あなたは、なぜわたしにむかって叫ぶのか。イスラエルの人々に語って彼らを進み行かせなさい。

あなたはつえを上げ、手を海の上にさし伸べてそれを分け、イスラエルの人々に海の中のかわいた地を行かせなさい。

そして見よ、わたしがエジプトびとの心をかたくなにするから、彼らはそのあとを追っては

いるであろう。こうしてわたしはパロとそのすべての軍勢および戦車と騎兵とを打ち破って誉を得よう。

わたしがパロとその戦車とその騎兵とを打ち破って誉を得るとき、エジプトびとはわたしが主であることを知るであろう」。

このとき、イスラエルの部隊の前に行く神の使は移って彼らのうしろに行った。雲の柱も彼らの前から移って彼らのうしろに立ち、

エジプトびとの部隊とイスラエルびとの部隊との間にきたので、そこに雲とやみがあり夜もすがら、かれとこれと近づくことなく、夜がすぎた。

モーセが手を海の上にさし伸べたので、主は夜もすがら強い東風をもって海を退かせ、海を陸地とされ、水は分かれた。

イスラエルの人々は海の中のかわいた地を行つたが、水は彼らの右と左に、かきとなった。

エジプトびとは追ってきて、パロのすべての馬と戦車と騎兵とは、彼らのあとについて海の中にはいった。

暁の更に、主は火と雲の柱のうちからエジプトびとの軍勢を見おろして、エジプトびとの軍勢を乱し、

その戦車の輪をきしらせて、進むのに重くされたので、エジプトびとは言った、「われわれはイスラエルを離れて逃げよう。主が彼らのためにエジプトびとと戦う」

13 主の言葉はとても素晴らしい、とても良い、それを読むのを止める方法はありません。私たちがそれを読むとき、それはただの命になるのです。今朝のこのテキストは、録音されているとは思いますが、最初にこれを言いたいのです。それは私自身をみだしたのです。そして、その理由は、私が…昨日、勉強中にこの主題に出くわしました。そして、「主の御心であるならば、それが私を導いてきたので、私はただそれについて話そうとしています。」と思いました。そして、それが私たち全員を導き、私たちが見、そして私たちに見上げさせることを願っています。そして、少し勉強するために、当時と、現在とを比較します。

14 テキストに3つの単語を取りたいのですが、それは次のとおりです。なぜ泣くのか？語れ！です。神はモーセに、この15節でこう言われました。「あなたは、なぜわたしにむかって叫ぶのか。」イスラエルの人々に語って彼らを進み行かせなさい。」そして：なぜ泣く(叫ぶ)のですか？話しなさい！

さて、私たちはかなりの主題を得ました。私は聖霊が導くように、できるだけ早く急ぐように努めます。そして、私はこの問題について考えたいと思います。問題の時に、モーセが神に向かって叫び(泣きつき)ました。そして、神は、問題が起こっていたとき、セッション中にモーセを叱責しました。そして人が叫ぶのは自然のようです。そして、それは何を意味するのでしょうか。神が振り向いて、彼にそれを言ったことは、彼に叫んだことに対して叱責することだったのです。とても難しいことのようにです。

15 多くの場合、私たちが聖句を見るとき、私たち自身の見方では、それは非常に難しいようです。しかし、しばらくの間それを研究するならば、全知の神は彼がなされていることをご存知であることが分かりました。そして彼はこれらのことをする方法と人に対処する方法を知っています。彼は人間の状態を知っています。神は、人を知っています。私たちは知りません。私達が唯一知っているのは知的な側面からだけです。神はその人の本当の姿を知っています。

モーセはこの世で生まれた、賜物を与えられた少年でした。彼は預言者、解放者となるために生まれました。彼は私がしっかりと信じているように、世に来るすべての人がこの装備をもって生まれたので、彼は生まれた時から装備持って生まれました。つまり予知の神があらかじめ決めておられたのです。

16 「神は誰もが滅びることを望んでおられるのではなく、すべてが悔い改めに来ることを望んでおられるのです。」しかし、神であることから、彼は「初めから終わりを知っているのです」そうでなければならぬのです。分かりますか？彼がそうしなければ、彼は無限ではありません。そして、彼が無限ではないなら、彼は神ではありません。ですから、彼は確かに、誰も滅びることを望んでいませんでしたが、彼は、誰が滅び、誰が滅びないかを知っていました。それが理由であり、イエスが地上に来られたまさにその目的は、全世界が罪に定められたので、神が彼の予知を通して、救われたいと思っていて見たい人々を救うためでした。そして、

私はそれを神の予知以外の方法でどのように教えることができるかわかりません、そして聖書は彼が「初めから終わりを知っている」とはっきり言って、それを伝えることができます。

したがって、ある人が何か彼らでないものになろうとするとき、彼らはなりすましをしているだけであり、遅かれ早かれあなたを見つけ出すでしょう。あなたの罪はあなたを見つけ出します。あなたは彼らを覆い隠すことはできません。罪の覆いは一つだけあります。それはイエス・キリストの血です。そしてそれは神があなたを世の礎の時から召されない限り適用することはできません。それがその血が流された理由です。だまされたり、からかわれたり、仕事をされたり、悪口を言われたりするためではないのです。それは直接的な目的のためでした。そうです。罪は覆われていないのに覆われていると言って、いじられたり、なりすまされたりしてはいけません。そして、彼の名前が世の礎が創られる前に子羊の命の書に記されていない限り、誰も人は彼の罪を覆うことができません。イエスは言われました、「私の父が彼を引き寄せない限り、誰も私に来ることは出来ない。そして、父が引き寄せられたもの全て」、過去形、「私に与えられたものは、私に来るであろう」。そうです。ですから、御言葉を嘘にすることはできません。それらは真理と矯正のためにそこにあるのです。

17 そしてモーセは信仰の賜物をもって生まれました。モーセが持っていた偉大な信仰。しばらくして、彼の中から出てくるのが分かります。そして彼は素晴らしい家族に生まれました、我々は彼の父と母がどうだったかを知っていますそして彼らはレビ族の家族から来ていました。そして、これまでの話で、出エジプト記の本の中で、この偉大な人物の命を美しく与えてくれます。そして、彼は聖書の最も偉大な人物の一人でした。なぜなら、彼は厳密には主イエスの類似であったからです。

彼は主イエスのように非常に可笑しい形の出産で生まれました。彼は主イエスのように迫害の時に生まれました。彼は主イエスのように解放者として生まれました。彼は主イエスのように敵から離れて両親から隠されました。そして彼は主イエスのように彼の奉仕の時を迎えます。彼は主イエスのように指導者でした。彼は主イエスのように預言者でした。そして彼は主イエスのように法律制定者でした。

そして、私たちは彼が岩の上で死んだことを発見しました、そして、彼は800年後に彼が主イエスと話していて変容の山に立っていたので、彼は再びそしてすべてを蘇らせたに違いありません。分かりますか？天使たちは彼をつめました。彼がどこに埋葬されているのか誰も知らない。悪魔でさえそれを知りませんでした。率直に言って、彼が埋葬されたことはないと思います。私は一神は彼を詰めて送り出したと信じており—そして彼は彼が彼の生涯にわたって追っていた岩の上で死にました。

そして、彼は完全なキリストの類似系でした。彼は人々の上で王でした。彼は法律制定者でした。彼は—彼は一人々を支え扶養していました。彼は、キリストがそうであったようにその類似の内で、すべてのものでした。

18 さて、彼は彼の中でこの素晴らしい賜物と質を持って生まれたことを見てください。そしてそれは唯一命を齎すものに対してしか使われないのです。

ほら、神の種は実際には世の礎から私たちの中に置かれています。そして、その光が最初にその種に当たると、それは生命をおもたらしめますが、光は最初に種に来なければなりません。

私が井戸で小さな女性の事を何度も教えたように、彼女はその状態にあります。彼女は-悪名高い人であるが-彼女の人生は衰退し、その伝統は彼女に触れたことがないのでその状態でしたが、しかし、その光が最初に彼女に触れたとき、彼女はすぐにそれを認識しました。それに対応する何かがあったからです。「深い方が深いものたちを呼び出すとき」、その呼びかけに応える深みがどこかになければならないのです。

そして、ここでのモーセは預言者として生まれましたが、彼は知的な学校とパロの宮殿で育ちました。彼の下で育てられたファラオ・セティは、まだ名誉を持っている人であり、ヨセフが主の預言者であることを信じていました。しかし、セティの後にラメセスが来て、ラメセスはヨセフを気にしませんでした。ですから、問題が始まったのは、ヨセフを知らないパロが立ち上がった時です。

しかし、これらの優れた特質について、少しの間、そしてテキストの主要部分に到達する前に、それらについて話しましょう。私はテキストを設定してそれを構築する奇妙な方法を持っています、そして私たちが今朝それに構築するとき、主は私たちを助けてくださいます。

19 モーセは、この偉大な信仰の賜物とともに生まれました。それから、彼は神の民を救うために油そそがれ、燃えている茂みに任命されました。さて、この男がどんな素質を持っていたのか見てみましょう！彼はある

特定のこのために生まれました。神はその中に目的を持っていました。

神はあなたがここにいる目的を持っています。分かりますか？もしあなたがただそうであることだけができるなら、その場所に行くのに、どれほどあなたと神とあなた自身を救うのにどれほどの苦勞をさせたでしょう。

モーセは生まれ、その後彼は、油そそがれた場所に連れて行かれました。そして、気づくと、彼はこの人々を救うために彼が生まれたというすべての信仰を持って、知的概念でそこに種を置いていましたが、燃える茂みからの光がそれを光るまで、それは生命に決して来ません。彼が見たときまで、彼は何かについて読んだのではなく、彼が目で見ただけでした。彼に話しかけた何か、そして彼はそれに話しかけました。ああ、それがいかに物事に命をもたらしたか。

20 私は、男性、女性、男の子、または女の子だと思います。そして、私は、彼らがみことばが何であるかなどの知的概念では、彼らがそのみことばを実現するその光に出会うまで、完全な基盤を築くことは決してできないと思います。

教会がその実践においては、どんなに知的で根本的なものであっても、超自然がその人々の間で知らされ、彼らがそれを見るまでは繁栄できないと思います。彼らが話すことができる何か、それは彼らに話し返すでしょう、この書かれた言葉を立証すること。

21 覚えておいてください、モーセがこの燃える茂みに出会ったとき、その言葉は正確に立証されました。それは御言葉でした。モーセは心配する必要はありませんでした。「いったい、この声は何ですか？このこあるものは何ですか？」なぜなら、神は創世記ですでに聖句に書いておられます。「あなたの民はこの見知らぬ土地に滞在しますが、400年後に連れ戻され、再びこの国に戻ってきます。アモリ人はまだ満たされていません。」さて、何百年も何百前も神は言われました、「イスラエルの民は見知らぬ国に滞在し、虐待され、そこに400年とどまるでしょう。しかし、神は力強い手で彼らを引き出してください。」つまり、この燃える茂みで…

モーセはこれを知的に知っていました。そして、彼の中で生まれた種は、彼の心の中に置かれていました。そして彼は、みことばに関する彼の知的経験を通して、彼らを引き出そうとすることを試みた。彼はその目的のために生まれたことを知っていたからである。彼はその時を知っていました。聖句はすべて、彼らはすでに400年そこにいたと言いました。

我々が今知っているように、数瞬間前にある人が私に尋ねました、来臨と携挙についてでした。私たちは知っています。私たちは、携挙が近づいている時、タイムアウトを生きてきました。私たちは教会を引き寄せ、それに超自然的な力を与え、私たちが住んでいるこれらの身体を変えることができる携挙する信仰を探しています。我々が神を見る時、床から死者を蘇らせて庭から引き上げることが出来た時、命が再び戻り我々の前に表わされました、我々が神である癌を取り去り人々に携挙への信仰を与えるべきために強い健康な人を引き上げて影となっていました。その光が空から光り、ラッパが鳴ると、キリストのからだはすぐに集まり、一瞬で変えられ天へ連れて行かれるのです。はい、そのようなことが起こる必要があります。そして私たちの神学校はそれを生み出すことはできませんが、それでも彼らは知的には大丈夫です。しかし、あなたはその光に会わなければなりません！あなたはその何かを見つけなければなりません。

22 そしてモーセは、彼の偉大な証明はみことばに基づいており、そしてある日彼がこの光に出会い、みことばそのものが彼に語り返すまで、それは素晴らしかったです。それから彼は彼の油注ぎを得ました。それは彼が彼の内に持っていたものに油が注がれました、それは内側に、それを信じた知性、彼の母親から彼を切り離れた神への彼の信仰に基づいた信仰。そして今、彼がこの光の存在下で打つとき、それが彼が信じていたことに油注ぎました。分かりますか？何という油注ぎ！そして彼は認められました。

さて、私たちは知っています、彼は母親のことを知的に聞いていました。彼は何が起こるかを知っています、彼はその時代に生きていたことを知っていました。しかし、ここで彼は自分が失敗したことを知ったので、彼は持っていたかもしれない信仰が若干衰退したかもしれません。しかし、それから彼が茂みに来たとき、神は言われました、「私は私の民の叫びを聞いた、そして私は彼らの先祖、アブラハム、イサク、およびヤコブへの私の約束を覚えている、そして私は降りてきた。」「私は」そこで、その人格代名詞「私は彼らを救うために降りてきた。」

23 そして今、私はこれを追加することができます...もしそれが冒瀆に聞こえるならば神様私を許してください。「私は地上では人を通してのみ働く。私自身は働かない。私—私—私は木であり。あなたがたは枝です。」

そして、私がある人を見つけることができる時のみ、私は自分自身を宣言します。そして、私はあなたを選んだ、そして私は彼らを連れ出すためにあなたを送り出す。」分かりますか？さて、注目して下さい、「私はあなたの口と共にいるであろう、そして私は…あなたはこの杖をとりなさい。」

そしてモーセは言いました、「あなたが私を送るという証拠を見ることができます、そしてあなたは私に油を注いだ、そしてあなたはこれらのことをするつもりですか？」

「あなたの手にあるものは何か？」と言いました。

彼は「杖」と言いました。

「それを捨てなさい」と言いました。それは蛇に変わりました。彼は逃げました。

彼は言いました、「それを取り上げなさい。」それは杖に戻りました。「胸に手を入れなさい」と言いました。それを取りだすと、それはライ病でした。元に戻すと癒されました。

24 「彼は神の栄光を見た」と言った。モーセにはこれ以上質問はありませんでした。あなたは気づいたことがありますか、彼は二度と荒野へと走ることはありませんでしたか？彼は油そそがれていることを知っていました。彼は、彼の心の中にあつたこれらすべてのこと、これらの素晴らしい質を知っていました、そして彼は…彼らは今油注がれています。彼は準備ができています。彼は行く準備ができています。だからエジプトに向かって彼は行きます。

神は「私はあなたと一緒にいます」と言われました、それで解決します。もし、「私とあなたと共にいる」ということはこの彼の偉大な心への召命のためにモーセが知らなければならなかった全てでした。そして今、神は「私はあなたと共にいる」と言われました。

さて、神はモーセの主張をも立証されました。モーセの主張「私は主に会いました。そして彼はあなたに言った、「あつてあるというものが私を送った」。分かりますか？

今、彼らは言いました、「ここに男がいます、もう一人のユダヤ人、おそらくこれらの狂信者の何人かは、私たちが束縛から取り除くためのあらゆる種類の計画で常にやって来ています。」そして、あなたは人々が奴隷であるとき、または何かのために束縛されているとき、人々がどのような状態にあるかを知っています、それを行うために常にある種の仕掛けがやって来ます。

ですから、モーセ、神はモーセに約束しました、「私はあなたと共にいる。私はあなたの中にいます。私の言葉はあなたの言葉になる。あなたは私の言葉を話し、私が言うことを言うだけです。」

25 そして今、モーセが降りて行き、彼らにこの証明を与え、パロの前に立って、彼に言った、「ヘブル人の主なる神は言った「子供たちを共に行かせよ」と。そして彼は彼らを行かせませんでした。ですから、彼は長老たちとパロの前でしるしを行い、神が行ったしるしをしました。彼は言いました、「さて、明日のこの時間に、太陽は沈むでしょう。エジプトの至る所が暗闇になるでしょう。」そして、それはまさにその通りに起こったのでした。それから彼は、「そこに、そこにハエが来ています」と言いました、そして、彼は彼の杖を伸ばして、ハエを呼びました、そして、ハエは来ました。そして彼は預言しました、そして彼が預言したすべてはまさにその通りに起こりました。それは神でした。分かりますか？

26 神は彼を彼の誕生の時から呼び出し、彼に資質を与え、偉大な信仰を持たせ、そして彼のご臨在と共に降りて来させ、彼にその偉大な何かに油を注ぎ、彼の御言葉によって彼を送りだしました、そして彼は適切に彼の主張を立証しました。いくつもの鳴き声が上がったとしても、これらの他に何が起こったとしても、神は言われたのです…モーセは同一視(身分証明)されました。モーセはモーセが言ったように、神に栄誉を与えたのでした。その御言葉を決して忘れないでほしい。神の言葉がモーセにあつたので、モーセが言ったことを神は光栄に思った。「私はあなたの口と共にいるでしょう。それは正しいことを話すでしょう。」さて、神が言われたこと、神が言われたこと、彼はモーセを通してそれを語りました、そしてそれは彼の主張を確認しそして立証しました。

27 また、彼は母親から、彼の神秘的な誕生について、そして解放される時がどのように近づくかについても言われていました。アムラムと、レビの息子と娘であるヨケベドは、救い主を送るように神に祈り始めます。そして、それは…あなたが約束の時が近づいているのを見るとき、それは人々を祈りと飢えに陥らせるでしょう。そして間違いなく、ヨケベドは何度も彼に言いました、彼の母親。彼女は彼の家庭教師だったので、私たちもその話を知っています。そして、彼女がどのように祈ったかを彼に話しました。「そして、モーセ、あなたが

生まれたとき、息子、あなたはきちんとした子供でした。あなたは他とは異なっていました。あなたの誕生時に何かが起こりました。」

私はしばらく前に子供たちのためにそれについてドラマをしました、そして「アムラムが部屋で祈っている間に、彼は天使が彼の剣を引っ張ってそれを北に向けるのを見て、そしてあなたが子供を産むでしょう」と言いました、そして彼は北の子供たちを約束の地に連れて行くでしょう。」小さな子供達にドラマを通して、彼らが理解できるようにします。彼らの知性はあなたがたの大人のレベルまで来ていないこと、そして聖霊があなたにそれを明らかにする時に物事をつかむことができること。

28 さて、彼の母親はこれらのことを彼に話しました、そして彼はこれを知っていましたが、それでも彼は他に触れられることが必要でした。その教えは良かったのですが、彼には個人的な接触が必要でした。

それが今日の世界に必要なものです。それが今日教会が必要としていることなのです。それが誰もが必要とするものです、それは神の息子と娘です。そのためには、個人的なつながりが必要です、何かを参照してください。とにかく、あなたは御言葉が真実であることを知っています、あなたはそれが正しいことを知っています。しかし、それが接触したとき、あなたは物事が行われたのを見ると、あなたは正しい道にいることがわかります。わかりますか？そして、見てください、それは常に聖書的です。それは聖書が正しかったからです。

アムラムの祈りはまさに聖書にありました。彼らの祈りは約束されたみことばと共にありました。神はその時それをするを約束されました。彼らはそのために祈りました、そしてここに生まれた適切な子供がいました。そして彼らは…

29 見て！ああ、私はこれがいかに好きか！見てください、パロがすべての子供たちを死に至らせていた時間に、子供たちを剣に近づけた時に、守護剣。彼らは、彼らがこれらの小さな子供たちを刺し殺し、ワニがおそらくヘブライ人の子供たちの体に太るまで、彼らをワニが小さな体に与えました。しかし聖書は、「両親はパロが子供を殺すようにとの命令を恐れていなかった」と言っています。彼らはしませんでした。そもそも、この赤ちゃんのうちに何かを見たので、彼らは怖がっていませんでした。彼らはそれが祈りの答えであることをそれに見たのでした。

そして今、モーセはこれらすべてを背景として持っていたので、モーセはイスラエルの子供たちを救うというまさにその目的のために送られたことを知っていました。

ほら、すべての背景が盛り上がっています。あなたが何かを得て、聖書をもたらすことができる時、「これは起こるだろう」と言って、ここでそれは起こります。「そして、これはその時になるだろう」ここでそれは起こります。「そして、これはその特定の時になるだろう」そこで起こります。それがすべて一緒に蓄積され、私たちのための絵を描きます。

30 ああ、今朝の幕屋、この時間の私たちの人々、ネヴィル兄弟、私たちが世界を織り上げて揺さぶる世界を見て、私たちがどのように見回すことができるのか、灰色が髪を打って肩がかがむのを見てそして、約束が近づいているのを見てください！それは、それ…多くの場合、誰かが一度にそれに跳ね返って、それを理解できなかったり、むしろ理解したりして、すぐにそれに入ると、ただ携拳と言うものと共にそれがあなたを永遠に誘うと思います！そして、それを知らなかった、そしてただ、ああ、私たちが見て、知って、理解したことを突破し、すべてが一度に跳ね返ります。男性、または女性、少年、または少女は、おそらく彼らの手を挙げて、「行こう、主イエス」と言うでしょう。ああ、その時はとても近いです！

31 モーセは彼がその目的のために生まれたことを知っており、窓の外を見て、苦しんでいるヘブライ人たちを見ていました。ここで聖書を振り返ると、「彼らは400年滞在するでしょう、でも私は強力な手で彼らを連れ出します。」それから彼が戻ってきたとき、任務の後で、油そそがれた、彼が生まれたことを知っていました…そして、彼の信仰は見て、信仰によってそれらの人々を見て、彼らが神の子供であることを知っていました。なぜなら世は、その御言葉がそう言っていたからです。彼らは世のものではなく、他の人々のようではありませんでした。彼らは異なっていました。そして、彼らは、エジプトの高い魅力に向けて、クランクと狂信者でした。そして彼はパロの息子になり、王国を引き継ぎ、そして次の地になった。しかし、彼には、彼の中に何かがありましたそれらの物の中には見えない本当の信仰、彼が受け継ぐべき魅力でした。彼は神の約束を見て、その時が近づいていることを知っていました。そして、その男は何を考えていたに違いありません！

32 いつか、向こうで会ったときに話したい。あなたは「気が狂っている、兄弟！」と言います。いいえ、違います。私は神の恵みによって彼に会うつもりです。はい、そうです。私はいつか彼と話します、モーセ自身と。彼

の準備を見た時ただどのように感じたかをどれほど尋ねたいでしょうか!

何とイラつかせるか、悪魔は言い続けているのです。「ああ、人々はあなたを信じないでしょう。ええと。そこには何もありません。」

33 しかし、その種がその生命に来たとき、何かが彼を襲いました、そして、彼は何かが起こることを知っていました。彼は知っていました。彼の時計を見て、それが何時であるか、そして彼は彼が見ているときにどのように考えなければならないかを知っていました。さて、彼がこれらすべてをまとめたとき、彼が見たこのすべての素晴らしいもの。聖書の時、彼の母と父の祈り、そして彼は特別な誕生、不思議な子供として生まれました。そして、ずっと、彼の中に何かがありました。

そして今、彼は脱落し、彼は彼の学校から彼の軍事訓練を受け、子供たちを救うと考えようとしたことがそれは失敗しました。

それから彼は荒野に上がり、結婚しました—素敵なエチオピアの女の子、そして彼らにはゲルシヨムという名前の小さな男の子がいました。

そしてある日、群れに参加していると、突然山の頂上に燃える茂みが燃えているのを見ました。そして彼はそこにあがって行った。そして知識ではなく、想像力、妄想、幻想ではなく、彼の中に…アブラハムの神が光の中にあり、茂みの中に火の柱が戻っていました。波のように、その火は茂みを気にしていませんでした。そして、聖書の声、神の声がそこで語り、「私があなたを選んだ。あなたこそがその人である。私はこの目的のためにあなたを建てた。わたしの言葉が成就しなければならないので、私はここであなたに、印によって、子供たちを救うために降りてくることを証明しています。」

ああ、この日の彼の言葉は成就しなければなりません。私たちはその時代に生きています。他の誰かが何を言おうとも、みことばは成就されなければなりません。天と地は滅びても、御言葉は滅びることはない。

34 さて、モーセがこれらすべてをまとめ、あらゆる方向から見たとき、それは彼の信仰に油を注いだ。アーメン!ああ、何という事!なんとという考えでしょう!これ、自身、それ自体が聖書がそれが何であるかをまっすぐに指しているのを見て、神のことばとそこにあることの証拠を見て、彼が彼にどんな信仰を持っていたのかについて、油が注がれて働きました。

私たちに何をすべきか?私たちは悔い改めが必要です。リバイバルが必要です。私は自分のことを言っています。分かりますか?揺れが必要です。何かが必要です。私は今朝、自分自身について話していると言いました。私—私—私には—一目覚めが必要です。

そして、私とその素晴らしい証拠を考えると、すべてがそこにとても完璧にレイアウトされ、それがモーセの信仰に油を注ぎました。そして、何と、彼は何もないのを見ました…

35 ここで、彼はエジプトから逃げ出しました、実際、彼は反乱や何かを始めたかもしれませんが、そして彼は立ち上がってエジプトで革命を始めたかもしれませんが、そして軍を奪い、戦ったかもしれませんが、ほら、彼の側には何千人もいた。しかし、その代わりに、彼の側に軍隊がいて、それをすることさえ怖がっていました。

しかし、今ここに彼は戻ってきて、40年後、80歳で、彼の手には杖だけを持っています。なぜ?彼の心の中で燃え落ちていたものが現実になりました。彼はその時に油注がれました、そして彼は彼が主がこう仰せになれるを知っていました。今、彼を止めることは何もありませんでした。彼は軍隊を必要としませんでした。神は彼と共におられました。彼が必要なのはそれだけです。神が彼と共におられる。

ああ、神が特定のことをするようにあなたを送られたと知っているとき、それがそこに移動しているのを見ると、何もそれが起こる理由がないのです。それだけです。

36 主が特定のことが起こりそうだとされた時を覚えています、そして私は上に移動して、そこにそれが置かれているのを見ています。ああ、なんて気持ち!神がそう言われたので、状況はすでに制御下にありません、それだけです。

私は覚えています、あなたがたの多くは覚えています、フィンランドで育ったその少年が死んで、自動車で殺されたことについて。そして私は道の脇に立って、その子から歩き去り初めて、振り返って振り返って見たのでした。そして、何かが私の肩に手をかけました、そして私はそれがムーア兄弟であると思いました、そして誰も私の周りにいませんでした。そして振り返ってみると、見えた山を見上げました。私は言いました、「ま

あ、どこかでその丘を見たことがありますか、私たちはこのように上ってはいませんでした。私たちは別の方向から来ました。その丘はどこですか？」

そして私はその車が大破していてその少年がそこに居て、老いぼれのような髪型とここで我々が呼んでいた状態でそこに居ました。ウェイ兄弟のように彼が倒れた先日のように、目は後ろを向いた。そして、小さな足が靴下を走りました、そこで彼の小さな手足は骨折していました。そして彼の目と鼻と耳から血が流れていました。そして、彼の小さな短いズボンを見ました。そして、ボタンで結びついていて、彼の、ここと彼の小さな腰の横に沿って。彼の小さなストッキングは、何年も前に着ていたような長いストッキングのようなもの。

37 そして、私は周りを見回しました、そして、正確に、聖霊が2年前に私に言った方法が正確にありました、あなた方全員が全国のあなたの聖書にそれを書いたとき、それは起こるでしょう。あー、だから状況は手の内にあります。彼がどんなに死んでいても、他の誰かが何を言っている。それはすべて終わりました。彼は必ず帰って来るのです。

私は言いました、「もしこの子がこの死からよみがえらなければ、私は偽預言者です。私は神を偽って表現しています。故郷では、2年前に、彼はこれが起こるだろうと私に言いました。そして、そこにこれらのミニスター達、そしてすべて、それは私たちの聖書の見返しに書かれています、そしてそれはまさにここにあります。見返しからそれを読んでください。「国にいて、岩を擦られて殺されて…道路の右側にいる」と。その道の右手の側。私は言いました、「ありました。何もそれを止めることはできません。状況はすでに制御されています。」

私の心の中にある信仰に油が注がれました。ああ、それを説明することさえできれば！神への信仰…私は神に居てそれが私に語られ、それは決して失敗しませんでした。「その状況は今制御下にある。ここに私が2年前にあなたに示したものがあります、そしてそれはここにまさに正しい順序で置かれています。あなたがしなければならない唯一のことは、言葉を話すことです。」そして、その小さな少年は死からよみがえりました。分かりますか？

38 私は考えていて、そこに座っているフレッド・ソットマン兄弟とバンクス・ウッド兄弟とそれらを振り返っていました。先日、アラスカハイウェイで私が教会に立って、シカの角、42インチ、シルバーチップの灰黒ぐまのように見えるすべての動物について話しました。私はこれまでそこに行ったことがありませんでした。どのように…これを手に入れるつもりだったのか、それがどのようになるのか、そして私と一緒に何人いるのか、そして彼らはどのように服を着るのか。あなたはそれが起こる何週間も何週間も前に、あなた方一人一人がそれを知っています。

そして、そこに私がそこに移動したとき、それを知らずに、その動物を産みました。そして私は行って、そして彼は…不可能でした。ハンターがこのテープを知っているか、またはこのテープを聞いているなら、どうやって動物の前を歩くことができないか、彼は飛び上がって走ります。しかし、彼はしませんでした。

39 そして、彼は私の書斎の部屋にぶら下がっています。シルバーチップがちょうどその通りでぶら下がっています。そして、彼の正確さを示すために、そしてそこに置かれるルール、巻尺。そして、ある角は、動物が緑色で乾燥したときに、少なくとも2インチ以上収縮しますが、収縮することはありません。それはまだ鼻の上に42インチです。分かりますか？そこには銀の先端があり、それは長さがちょうど7フィートでそしてすべてが今まさにそのようにあったままそこにあります。

しかし、この男が私に言ったとき、「さて、ブラナム兄弟、私たちはあなたが話していたこの動物を手に入れました、しかしあなたはあなたが丘の底に着く前にシルバーチップグリズリーを手に入れると言ったのです。彼らの男の子がいるところに、それは緑のシャツを着ています。」

私は言いました、「それは主が仰せになられたこと。神がそう言われました。」

「しかし、ブラナム兄弟」と彼は言いました、「私はこの至る所で見ることができます、何マイルもの間、何もありません。彼はどこから来たのですか？」

40 私は言いました、「それは私が質問することではありません。神がそう言われました！そして彼はエホバ・ジレ(供給なさる方)です。彼はそこにクマを連れてくることができます。彼はそこに置くことができました。」そして彼はそう言ったのでした。そして、彼はそこにいます。それは制御下にある状況です。

そしてモーセは、彼がこの目的のために建てられたのを見て、彼が向かい合って出会った時に、この偉大なる神が、召命し、油そそがれ、彼を特定し、そして言われました、「これはあなたの召命なのです、モーセ。私はあなたを送ります、そして私はあなたに私の栄光を見せます。そして、私はやぶの中で燃える火としてここにいる。そこに行き！私はあなたと共にいる。」彼は杖さえも必要としませんでした。彼はみことば、立証されたみことばを持っていて、そこに行きました。それは彼にあった信仰に油を注ぎました。

そして、聖書の中で語られているように、私たちが終わりの日に生きているのを見ると、これらのすべてのしるしが起こっていることを知るために、油を注ぎます。天国から政治力、そして人々の性質、そして世界の士気低下、そして女性の間、そして彼らが最後の日にどうするか、そして男性がどうするか、そしてどのように教会は、国々がどのように、そして神がどのように行うかを行います。そして、私たちはそれがここに置かれているのを見ることができます。

ああ、それは私たちの信仰に油を注ぎます。それは大きなサイクルの内に私たちを動かすのです。分かりますか？それは、私たちを世の他のものから切り離します。分かりますか？私たちがどんなに小さくても、私たちがどれほど少数派であっても、どれだけ笑われたり、からかわれたりしても、少しの違いもありません。それだけです。それが分かるのです。私たちの中に何かがあります。私たちはこの時代を見るのがあらかじめ定められていました、そして私たちがそれを見ることを止めるものは何もありません。アーメン！ここで神はそれを語られました。それはすでに起こっています。私達はそれを見ているのです。ああ、どれほどこれを神に感謝しているでしょう！ああ、それから、ここでこれらのことが起こっているのを見るとき、それがあなたの信仰を引き出します。

41 さて、ここで再び私たちはそれを読みます、「信仰によって、モーセは、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。」さて、彼はキリストに従うことによるそのそしりを誇りにしていたのでした。

さて、「キリストへのそしり」を覚えておいてください。ほら、キリストに仕えることにそしりや非難があります。あなたが世界で非常に人気があるなら、あなたは仕えることができず、あなたはキリストに仕えてはいないのです。いいえ、できません。なぜなら、それに伴う非難があるからです。世界は常に非難してきました。

何千年も前でさえも、それに伴う非難がありました。そしてモーセがパロになるために、彼は次のパロになる予定で、パロの息子でした。そして、彼は人々の支持を得て次のパロの位置に来ていました、それでも彼は「尊敬しました…」尊敬とは「誇りに思う」ことを意味します。「彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。それは、彼が報いを望み見ていたからである。」エジプトは彼の手の内にありました。しかし、それでも、彼はキリストの道をとることは非難を受けることであることを知っていました、しかし彼は彼の中に何かがあったことを知ってとても幸せでした、それは彼にこのキリストへの近さ、キリストに近づくことによる避難を、彼が残されていたすべてのキラキラした栄誉よりも勝ると考えていたのです。彼は彼の内側に、外からくる遺産が彼に与えるものよりもはるかに大きな遺産を持っていました。

42 オー、もし我々が今日そのようになり、そして聖霊に、我々の内に油注がせ、その信仰、敬虔な命、キリストのために聖別されたものに注がせるのならば！

さて、彼はこのような信仰を持っていて、彼はそれに気づきました、そしてそのそしりを栄誉ととらえていたのでした。

今日、誰かが「ねえ、あなたはそれらの人々の一人ですか、それらですか？」とすることができます。

「ええと、ええと、ええと、ええと。」あなたはそれを少し恥じています。

しかし、彼はそれを世界全体よりも大きな宝物であると考えました。なぜなら、彼には、彼が言うことができる何かがあったからです。「はい私はこれだとみなしています。これは非常に光栄です。私は彼らの一人であることを嬉しく思います。」分かりますか？「私はエジプト人ではなくヘブル人として自分自身が数えられていてうれしいです。」

43 今日のクリスチャンは同じことを言うべきです。「私は自分をクリスチャンと見なして、世の物事や世の秩序を棄てることをうれしく思います。教会の会員としてだけでなく、聖書に従って生きる生まれ変わったクリスチャンとしても。私は教会のメンバーによってさえ「狂信的」と呼ばれていますが、私は私が都市や国で最も人気のある人であった場合よりも、それがより大きな、より大きなものだと思っています。私はアメリカの大統領、または地球上の王よりもむしろそうありたいのです。分かりますか？私はそれを非常に高く評価しています。神は憐れみ深く、世の礎が築かれる前に、私を見て、そこに小さな種を置いたからです。私の信仰が

これらの世の物の上を飛ぶようにでした。そして今、彼は私を呼ばれました、そして私は私の場所を考えています。」

44 パウロが言ったように、彼は自分の務めを高いものと見なしていました…そして、ああ、神はガマリエルのような偉大な教師から彼を呼ばれたと。しかし、パウロはキリストのために犠牲となるよう召されていました。分かりますか？今も、同じことなのです。

そのような信仰をもって、彼は彼の視力、彼が見ることができるものに決して依存しなかったことに注目してください。さて、彼は泥を扱う人々、奴隷、刑務所で毎日殺され、鞭で殴られ、彼らの宗教的信念をからかうもの達、彼らの宗教的信念は「狂信者」としてしか見ていなかったのです。そして、王位にはパロが座っていて、彼らの宗教について何も知りませんでした。彼はそれについて何も知りませんでした。彼は異教徒だったので、彼はただ…何という今日の絵(状態)!そしてそこには、別の宗教があります。そして、もしも、もしもこのモーセが、まだ大統領の席にいるなら、あるいは偉大な男パロが、彼の死に代わって、彼が老人だったとしたら。それでもモーセはそのことを…彼はそこを見て、パロが彼の家にいたので、パロはそれと同じ窓の外を見ていました。

そしてパロは外を見て、手を挙げている人々を見て、彼らは祈っていたので鞭を取り、彼らを打ち殺しました。彼らは失敗さえしたので彼らに剣を突き刺しました、いつでもそれに逆らい、彼らの小さな古い体が落ちるまで彼らを働かせ、彼らに必要な食料の半分だけを与えていました。「まあ、彼らは狂信者の集まりにすぎず、ほとんど人間ではありませんでした。」

45 それでもモーセは、彼へのその信仰が彼らを見て、「彼らは神の祝福された民である」と言いました。アーメン。私はそれが好きです。そのような信仰によって、彼の目はエジプトの魅惑に落ちず、それは神の約束に留まっていた。エジプトの魅惑を超えて見ていた彼の信仰の驚の目。彼は覚えている、彼は今驚になっている。彼は預言者であり、彼の驚の目はそれらのものよりも引き上げられて上にあります。アードれほど私がそれを好んでいるか!ああ!何という事!

今日では、クリスチャンは自分の感覚や、信仰の代わりに自分が何を見ることができ、何を理解できるかに依存しているのではないのでしょうか。目と栄誉で見るものに依存しています。あなたがた女性達に、私はいつもあなたに呼びかけています。あなたがたは髪を伸ばさなければならない、化粧をしてはならない、あなたは女性としてクリスチャンらしく振る舞わなければなりません。あなたがたは通りを見渡すと、今日の女性たちが不道德な服を着ているのを見ています。さて、あなたは「まあ、彼女は教会に属しています、なぜ私はそれをすることができないのですか?」と思います。分かりますか?「そして彼女は髪を切ったのですが、なぜ私はそれを出来ないのですか?まあ、彼女は同じくらい優しくして知的で、私も持っていない個性のようです。さて、なぜそれができないのですか?私はそれをすべきです。」それをするとき、あなたはあなたの信仰を麻痺させます。分かりますか?あなたは信仰に成長する機会を与えていません。私が言ったように、それから始めてください。

46 誰かが言いました、「ブラザーブラナム、国、人々はあなたを預言者とみなします。あなたはこれらの事柄のためにそのように女性も男性をも怒鳴るべきではありません。あなた、あなたは彼らに、預言して賜物を受け取る方法を教えるべきです。」

私は言いました、「彼らが彼らのABCさえ知らないとき、彼らに代数を教えることができますか?」分かりますか?

さて、それから始めましょう。通りを歩いているときに、とにかくクリスチャンのように見えるように、自分を整えてクリスチャンのように振る舞いましょう。分かりますか?そして、あなたは自分の中でそれを行うことはできません。キリストがあなたの内に来られるようにしなければなりません。そして、その種がそこにあり、その光がそれに当たれば、それは生命に来るでしょう。それが命に来なければ、命に来るものは何もありませんでした。それは確かに他の人にそれを証明したので、光がそれに当たるとすぐに、それはすぐに生命に来るのです。

47 それは、このテープを聴いている、または聴くことになる女性への叱責です。それはあなたへの叱責です、姉妹。そうであるべきです。それが示すので、それはそうあるべきなのです。私はあなたが何をしたか気にしません。あなたの全生涯、あなたは教会に住んでいたかもしれませんが、あなたの父は牧師であるかもしれませんが、またはあなたの夫は牧師であるかもしれませんが。しかし、あなたが神のことばに従わない限り、そこにはいのちがないことを示しています。持ち出されたものと聖霊の命を見るとき、それが他の人それが打た

れた時に見てください。それが彼らにもたらすなら、彼らが何をするかを見てください。疑いもなく

イエス様と呼ばれたパリサイ人たちへの非難は、イエスが彼らの思いを知覚することができたとき、彼らを「ベルゼブブ」と呼びました。

そしてその小さな売春婦は言いました、「だから、この方はメシアなのです。聖書は彼がこれを行うと言っています。」ほら、あらかじめ定められた種がそこに置かれていたのを見てください。そして、光がそれを打ったとき、それは生命に來ます。それを維持することはできません。あなたは命を隠すことはできません。

たぐさんの芝生の上にコンクリートを注いで冬に殺すことができます。翌年の春、あなたの芝生はどこにあるでしょうか？コンクリートの端のあたり。なぜならば、その石の下で発芽した種子、太陽が輝き始めるとき、あなたはそれを閉じ込めておくことは出来ないのです。それはそこを通り抜けて小刻みに動き、その端から出て、頭を神の栄光に突き刺します。ほら、あなたは命を隠すことはできません。植物の命に太陽が当たる時、それは生きるのです。

48 そして、聖霊が人の中にある聖書の命を打つと、そこにその実がもたらされます。[ブラナム兄弟が指を鳴らす一編集。]分かりますか？

ですから、あなたがどれほど真実で正直であるかに関係なく、あなたがそうではないとあなたが言う方法、そして彼らがそうであると言って話す...これらの女性達はこれらを着ています。これらの悪い服や物事は、通り沿いのためのまるで一般的なストリップのようです。しかしながら、あなたは自分がそうだと信じていませんが、信じさせることはできません。あなたは姦淫に無垢であることを証明できますが、しかし神の本では、姦淫を犯しています。イエスは言われました、「だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。」そして、あなたはそのように自分自身を提示しました。ほら、生命がそこに置かれていない限り、それを見ることはできません。

あなたは誰か他の人を見て、あなたは見て言います、「まあ、私はジョーンズ姉妹を知っています。ジョーンズ兄弟は…彼はミニスターです。彼の妻はこれをしたり、あれをしたりします。」

私はそれが何をするか気にしません。これが御言葉です。イエスは言われました、「すべての人の言葉は嘘であり、私のものは真実であるように。」それは聖書です。そして、その光が本当にそれを打つとき、それは生命に來る必要があります。それが命に來なければなりません。

49 さて、モーセの偉大な目、彼の驚の目は、エジプトの魅力を超えて見えました。

今日の真のクリスチャン信者は、教会が何を言っても、他の誰かが何を言っても。その光がそれを打つとき、彼らは神の非常に正当な信仰、そこに火の柱がぶら下がっていること、約束されたしるしと不思議、聖書が置かれていること、そしてそれがいのちに至るのを見る。それがどんなに少なくとも、そして少数派に何人でも。神のグループは常に少数派でした。分かりますか？「恐れることはありません、少し—少しの群れ。あなたに王国を与えるのはあなたの父の善意です。」分かりますか？彼らはそれをキャッチします。神は、彼らが命に定められているなら、それを見るために、あらゆる宗派、あらゆる教団から彼らを送り込む義務があります。

50 命に定められた古のシメオンを見てください。メシアが神殿に來たとき、母親の腕の中で赤ちゃんの形で。シメオンはどこかの部屋に戻っていました、聖書の中で読みました。彼が待っていたので、聖霊が彼をよみがえらせました。その命が彼の中にありました。彼は言いました、「私は主であるキリストに会うまで死ぬことはありません。」そして神殿には主なるキリストがいました。聖霊は彼を任務から外に導き、そこを歩いてその赤ん坊を抱きあげ、「わたしの目があなたの救いを見るように、あなたのしもべを平和に出発させましょう」と言いました。

隅に、昼も夜も主に仕えたアンナという名の老いた盲人の女性がいました。彼女はまた預言して言いました「救世主が来ています。彼が來るのが見えます。」しかし、彼女は盲目でした。同時に、彼がそこにいた時…彼女の中にあつたその小さな生命が、それを予測していました。「それはそこにある！そこにあるでしょう！それがあります！」それから、同じ命、光が赤ん坊の形で、「不正の子」として建物の中に来て、彼のおくるみを着た服に包まれて建物を通って出てきます。そして聖霊がその老いた盲人の女性に降りて来て、彼女はその霊によって来て、人々を通して導かれ、この赤ん坊を見て立っていました。そして母親を祝福し、赤ちゃんを祝福し、その未来が何であるかを告げました。ほら、命に定められた！分かりますか？

彼らを見てください、彼らは十数人もいませんでした。ノアの時代に救われた魂はたったの8人で、全く多くはありませんでしたが、その時に命に定められたすべての魂が来ました。聖霊が各時代でどのように機能するかを見て、人々を引き寄せられるのです。

51 さて、モーセの信仰が彼に何があったかではなく、何が起こるかを見守るように導いていたことがわかりました。今日ではなく明日を見てください。魅惑の代わりに約束を見てください。組織ではなく人々を見てください。分かりますか？神はそれをされました。

ロトは、エジプトやソドムで繁栄の魅力を見ることができました。ロトは、お金の可能性を見ることが出来たのでした。ロトは可能性を見ることができました…彼がソドムを見たときの可能性を見て、彼は多分…になることができました…彼はヘブル人であったので、彼はそこでは偉大な人になるかもしれません、なぜなら彼は偉大で知的な人物であり、アブラハムの甥だったのですが、彼はソドムに行くことを選びました。ロトの知性が、繁栄の魅力を見るように導きました。ロトの知性は、魅惑の祝福を見るように導きました。しかし、彼の信仰はそれによって非常に麻痺していたので、彼はそのような命を破壊することになる火を見ていませんでした。

そして、それが今日の人々のやり方です。彼らは素晴らしい組織に属することの可能性を見て、都市の人々との社会的地位を持つ可能性を見ていますが、彼らは神のされることに対する可能性を見ていません…彼らは彼らの信仰が麻痺しているのを見ていません。誤解されないように繰り返させてください。今日の女性たちは、私が言うように、彼らは映画スターのように行動したいのです。今日の男性はテレビコメディアンのように行動したいのです。

52 今日の説教者たちは、教会をある種の近代的なロッジや会員制などのようにしたいと考えているようです。彼らは教会と一緒にいけば、おそらく司教や一般的な監督、あるいはそのような何かになる可能性を理解しています。聖書が彼らの目の前にあるとき、神の力と人々の中に生きている神のことばによって徹底的に立証されているため、聖書を捨てているのです。しかし、彼らはそれを望んでいません。彼らは「私たちはそのようなものと混同されたくありません」と言います。それには彼らのフェローシップカードが必要です。それは彼らの宗派の秩序を取るでしょう。しかし、ロトのようにソドムに座って正直な人は、それが間違っていることを知っています。分かりますか？分かりますか？彼らがそれをするとき、彼らは何をしますか？彼らは持っていた小さな信仰を麻痺させるのです。それは働かなくなります。

53 さて、モーセはそれを放棄し、彼は…彼の信仰が世界を麻痺させました。

あなたの信仰が魅力を麻痺させるか、その魅力があなたの信仰を麻痺させるかのどちらかです。さて、あなたはどちらかを取る必要があります。そして、あなたは聖書が変わらないことが分かっています。神は変わりません。彼は不変の神です。

そして今、私たちは今日、この時代の人々が大きなもの、大きな組織に目を向けていることを発見しました。「私は何某に属しています。」分かりますか？そして、彼らはそこに行きます、そして、見て、通りの人々と何の違いもありません。他には何もありません。彼らは少し知的なものを持っています、そして続けるのです。神の癒し、火の柱、神の光について話すとき、彼らは「それは精神問題だ」と言います。

54 先日ある男性が主の御使いの写真を取って、バプテストのミニスターでそしてそれを笑っていました。ほら、それは冒涇です。分かりますか？そのための許しはありません。

それがイエス様の言われたことです。それは冒涇です。あなたがそれがキリストがされたまさにその業を行っているのを見たとき、そして彼は言った…彼らはそれがキリストの内で働くのを見た時、彼は犠牲の捧げものでした、そして彼らは彼を「悪魔、ベルゼバブ」と呼びました、なぜなら彼がそれをしていたからです。そして今、彼らは言います…彼は言いました、「私はそれに関してあなたを許します。しかし、聖霊が同じことをするようになったとき、あなたはそれに反対する言葉を語る時。それは、あなたがこの世や来たる世界で許されることは決してないでしょう。」分かりますか？それに反対するにはたった一言だけ言えばいいだけです。分かりますか？そして…

なぜなら、もしあなたが永遠のいのちに定められたなら、あなたがそれを見たとき、そのいのちは突然爆発するからです。あなたはそれを、井戸端の小さな女性のように、異なるものと認識します。しかし、もしそれがそこになければ、命に来ることはできません。命に来るものはそこには何もないからです。昔私の母が「カブから血を出すことはできない」と言いましたが、そこには血が入っていません。さて、それは同じことです。

55 そして、それはあなたが持っている小さな信仰を麻痺させます。ロトは魅力を見ることができましたが、彼はそのような魅力を破壊するであろう火を見るために十分な信仰を持っていませんでした。

私達は今日持っているだろうか？私達はあるだろうかと思っています、まあ、人気を得たいと思っている女性として、その教会の残りの女性のように行動したいのであれば、残りの女性のように行動したいと思っているのではないのでしょうか。彼らは、彼らは化粧をすることによって、よりきれいな女性である可能性を見ることができます。彼らは、より若い外観をしたり、髪を切ったり、他の人のように振る舞ったり、映画スターによって、よりきれいな女性を見ることができます。しかし、それは彼らの信仰を麻痺させていなかったのではないかと思います。聖書は、「女性はそれをする…それは不名誉な女性である」、そして「男の着るべき服を着る女性は神の前では呪われるべき存在である。彼らが来ている、ズボンやら短パンなど。そして、それを行う人々の通常のルーティーンになるまで、非常に無神経になります。彼らはあなたが持っていたごく小さな信仰を麻痺させていないのでしょうか、教会に行くためでさえね。それがそれがすることなのです。

56 ロトはそれをしました、そしてそれは彼を麻痺させました、そしてそれは彼の人々をそこで麻痺させました。彼らはそれを見ることができませんでした。

しかし、アブラハムは、立証された信仰を持って、彼の叔父で、彼は魅力を見ていませんでした。彼は一生懸命自分自身のために生きなければならなかったにも関わらず。彼は其れとは何のかかわりも欲しくなかったのです。そしてサラは、不毛の地の、困難な道の荒野に住んでいました。しかし、彼らは魅力や人気になる可能性を見ていませんでした。

サラはその地で最も美しい女性であったと、聖書はそう言っています。彼女は美しくで、すべての女性の中で最も美しかったのです。そして今、彼女はとどまり、彼女の夫にさえ従いました、そして彼女は彼を彼女の「主」と呼びました、それは新約聖書の中で、聖書に言及しています。「あなたが信仰に従う限り、あなたが誰の娘か」彼女の夫を「主」と呼びました。

そして、主の天使は彼らの神殿と…または彼らの小さな天幕を訪れ、彼らに告げました。彼らには住む家さえありませんでした。不毛の地に住んでいたのです。そして、あなたはそこにいます。その時代、当時とまったく同じように、再びパターン化されたその時代が分かりますか？

57 さて、モーセは彼の偉大な信仰を持って、再び、現在の世のものに「ノー」と言って、正しい選択をすることができました。彼は神の民と共に苦しむことを選びました。彼はそれと共に行くことを選びました。なんで？彼の信仰！彼は約束を見ました。彼は終わりの時を見ていました。彼は将来を見て、彼の信仰を解き放ちました。そして、彼はここでの可能性で彼の目が見たものに注意を払いませんでした、彼はパロであり、そしてパロになることになっていました。彼は将来を落ち着いて見ていました。

ああ、もし人々がそれだけ出来ていれば、現在の世界を見ることはありませんでした。あなたが現在の世界を見るならば、あなたはそれで選択をします。それからあなたの目を隠して、将来を見据えての神の約束を見てください。

彼の信仰によって彼は選ぶことができました。彼はアブラハムの息子と呼ばれることを選び、パロの息子と呼ばれることを拒否しました。どのように彼は出来たのですか、国全体が、、の時エジプトは世界を鞭打ちました。彼は世の王であり、40歳の青年で、ここで王位に就く準備ができていました。しかし、彼は自分の知性を決して見ませんでした…

58 女性が彼の周りに毎日置かれているのを見てください、彼らのハーレム。魅力を見てください。座ってワインを飲み、彼の前でストリップが行われているを見て、彼らは踊り、彼を扇動しました…そして、世界中の女性達、そして宝石や宝物、彼の軍隊がそこにいました。彼がしなければならなかった唯一のことは、座って彼の素晴らしい食べ物を食べて、「軍の宿営の数をどこそこ、の向こう側、どこそこに送って、その国を取りなさい。私はただそれが欲しいと思っています。」それが彼がしなければならなかったすべてです。そこに座ると、彼らは彼を扇ぎ、口を開いたままにします。その日の素敵で美しいストリップ、彼の口にワインを注ぎ、彼の周りに彼らの腕を回して彼に食べ物を与えていました、世界で最も美しい女性すべて。そこにあったすべての魅力は、彼によってすぐそこに置かれていました。

しかし、彼は何をしましたか？彼はそれから目をそらしました。彼はそこに火が準備されていることを知っていました。彼は死がそのラインのうちにあることを知っていました。分かりますか？彼はそれがそうであることを知っていました。そして、彼は軽蔑され拒絶された人々の群れを見守り、信仰によってキリストにおけるそしりに苦しむことを選び、自分をこう呼びました「私はアブラハムの息子です。私はパロの息子ではありません

せん。あなたは私を司教、または執事、大司教、または法王にしてくれますが、私はこのことの息子ではありません。私はアブラハムの息子であり、自分を世のものから切り離しています。」アーメン、アーメン、アーメン!信仰によって、それをしました!

59 彼は魅力を取り去った。彼は次の司教になる可能性を取り、次の大司教になる可能性、または次の選挙で次の総監督になる可能性、あるいはそれが何であれ、彼はそれを断ったのでした。彼はそれを見るのを拒否しました。

「今、私が司教になったなら、私は中に入るのでしよう、そして人々は「神父」または「または博士」または「あるいは何某」または「または長老何某」と言うでしょう」彼らがどれほど、集会ですべてのミニスターたちが私を背中を撫でて言って、「ほらほら、すごい、その男は何かを持っていると言っているだろうというのです。ああ、シィ、シィ、シィ、静かにしててください、司教が来ます、ほら。彼の言うこと、それは律法です。ほら、ほら、何某司教がおいでになられます。」人々は世界を飛び越えて…法王に会い、足と指輪などにキスをします。どうして、何が、カトリックにとっての可能性、プロテスタントにとっての可能性なのか、司教または一般的な監督者、あるいは何か、組織のある偉大な人。

しかしながらもしあなた方が信仰の目を持ってその一番上を見ているならば、そして、あなたはそこにその終わりが見えます、神がすべては破壊されると言われます。信仰、その驚の目はあなたをその上に引き上げ、あなたは今日ではなく明日を見て、アブラハムの息子と呼ばれることを選びます。

60 パロ、信仰もなく、神の子供たちを「狂信者」と見なしていました。信仰がありませんでした。彼は自分の言うことを怖がらなかつたので彼らを奴隷にしました。彼は神を恐れていませんでした。彼は彼自身が神であると思っていました。彼は自分の神々、彼が仕えた彼の神々、彼が司教であると考え、彼は総司令官であり、彼の神々がそれをしていました。「ここではこのことは何もない」ので、彼は彼らを奴隷にした。彼は彼らを笑い、からかった。今日の人々がしたように、全く変わらないことなのです。

モーセの信仰は彼らを約束の地、祝福された人々の中で見ました。彼らを約束に合わせるのは難しいか戦いになるかもしれませんが、モーセは彼らと一緒に行くことを選びました。どのようにそれを置くことが出来たでしょう、しかし私の時間は終りかけています。分かりますか?

61 注目してください、それらの人々をひっくり返らせることは難しいかもしれません。「あなたは彼らと一緒に暮らさなければなりません、あなたは彼らの一人でなければなりません、そして彼らはすでにあなたが彼らを動かすことができないほど知的です。分かりますか?しかし、そこで何かが起こる必要があります。彼らの前に超自然現象が示されている必要があります。それは難しいことになるでしょう。組織はあなたを断るでしょう、そしてこれらすべては起こります。それは一あなたがしなければならぬことは恐ろしいことですが、それでもあなたは選択してください。」

「私は彼らの一人です。」ええ。彼の信仰はそれをしました。彼の信仰はきっかけとなるように光りました。はい、そうです。彼はそれを見た。彼らにその約束をするのは難しいことでしたが、とにかく彼は彼らと一緒に行くことにしました。彼らが彼にしたこと、そして彼らが彼を断ったことに関係なく、彼はとにかく行きました。彼は彼らと出かけていました。

さて、皆さんが読んでいることを願っています。よしとにかく、彼らと一緒に行きました。彼らの一人にして下さい、そうなのです、それがあなたの仕事だからです。大変な戦いになるかもしれませんが、試練をたくさん通ることになるでしょうが、とにかく行きます。

62 しかし、彼の信仰は彼を、魅力ではなくみことばの選択をするように導きました。彼はみことばを取りました。それがモーセの信仰がしたことです。信仰が神の最悪のものを見るとき…覚えておいてください、ここには世の魅力がありました、世界、最高の世界の王だったのです。そして神はどこを約束されていましたか?泥の穴の中、泥だらけの所。

しかし、信仰が神の最悪のものを見るとき、それは世が示すことができる最高のものよりも大きく、より価値があるとみなしているのです。はい、そうです。信仰がそれを見るとき、信仰がそれを見ることができるとき、みことばへの信仰がみことばが明らかになったことを見ることができるとき、それはすべての魅力や大司教、そしてあなたが話すことができる他のすべてのものではないのです。信仰はそれを行います。分かりますか?あなたはそれが何であれ、最悪の、軽蔑された、拒絶されたものを見ることが出来ます。それを最悪の状態にさせてください、それでも信仰は、世界が生み出すことができる最高のものより100万マイル高く評価されているのです。アーメン!それが私たちがその歌を歌う方法です、「私は主の世に軽蔑されている数人

と一緒に道を進みます。」分かりますか?ああ、何という事!

63 なぜなら、信仰は神が望んでおられることを見るからです。ああ、これがうまくいくことを願っています。信仰は現在を見ていません。信仰はこれをここでは見ていないのです。信仰は神が何を望んでおられるかを見て、それに応じて働きます。それが信仰がすることです。それは神が何を望んでおられるか、神が何を望んでおられるかを見て、信仰はそれを通して働きます。

信仰とは長期的なビジョンです。それは視力を下げません。それが目標を握っているのです。アーメン! 良い射手は誰でもそれを知っています。分かりますか?それは長期なのです。それは望遠鏡です。この周りではあまり見ないのはその双眼鏡です。あなたはそれが何時であるかを見るのに双眼鏡を使用しません。ほら、あなたはそれは使わないです。しかし、あなたは道を外れるために双眼鏡を使います。

そして信仰はそれを行います。信仰は、神の双眼鏡を両方、彼らの両方、新約聖書と旧約聖書の両方から受け取り、神の約束をすべて見ます。そして信仰はそれを向こう側で見、そして現在の時制がここで何を言っているかにかかわらず、信仰はそれを選びます。彼は終わりを見ています。彼はこれをそのように見ようと視力を落とさないでください。彼はその遠くを見ているのです。彼は十字架上の十字架をみことばの中心に置いています。それが信仰がすることです。それが、そうしたことをする人への信仰なのです。

64 今見てください。パロが呼んだもの、呼んだ声のうち、パロが偉大と呼んだものは、神は「荒らす憎むべきもの」と呼ばれました!パロは言うことが出来たでしょう、「ほら、モーセ、ここで、つまり、お前は次のパロです。私—私がここを去るとき、この勺をあなたに手渡します。この勺を渡します。それはあなたの物です。分かりますか?さて、これは素晴らしいことです。あなたは素晴らしい人になるでしょう、モーセ。あなたは司教になります。あなたはこれ、あれ、またはその他になるでしょう。私たちから離れないでください。あなたはここに居続けて下さい。」しかし、ご存知のように、彼はそれを素晴らしいと呼びました、そして神はそれを「荒らす憎むべきもの」と言われました!

さて、あなた方女性達ちょっと考えて下さい、あなたがた男性も。世が偉大と呼ぶものを、神は「汚物」と呼ばれています。聖書は、「男性の服装を女性が着るのは忌まわしいものである」と言っていないませんか?そして、あなたはあなたがそれをするに頭が良いと思っています。分かりますか?あなたは悪魔のために女性としての肉体を見せているだけで、それがすべてです。だから、それをしないでください。

そして、あなたはこの世の事の後には生きていて、この後に集まり、寄り添う男性たち!そしてあなた方男性は、あなた方の妻たちや物事をさせるなんて十分に厚かましいという、恥を知りなさい!!そして、自分を神の息子達と呼びますか?私にはソドマイト(ゲイ)のように見えます。分かりますか?あなたの気持ちを傷つけるためではなく、あなた方に真理を伝えるためです。愛は矯正するのです。いつもそうです。母親は子供を世話せず、それを矯正し、それをスパンキングし、気にかけてますが、それではあまり母親ではありません。そうです。

65 さて、そして今何が起きているかを見てください。モーセは彼の幻によってこれを見ました。そしてパロは、「これは素晴らしいことだ」と言いました。神は言われました、「それは忌まわしいことです。」だから神…モーセは神が言われたことを選びました。

さて、気づいてください、信仰は神があなたに望んでおられるものを見るのです。分かりますか?信仰は神が見られるものを見ます。

そして、推論と感覚は、世界があなたに見せたいものを見ているのです。推論に気を付けてください。「つまり、それは人間の感覚だけなのです。これが唯一の理由です—これが…さて、これは同じように良いのではないですか?」分かりますか?それはまさにその通りです。あなたがみことばに反する感覚を使うとき、それは世があなたに見てほしいものなのです。

しかし、信仰はそれを見ません。信仰は神が言われたことを見るのです。分かりますか?ご存知のように、あなたは理由を投げ捨てます。

66 理由、推論の感覚は世があなたに見て欲しいものを見るのです、大きな宗派のように。さて、あなたはクリスチャンですか?「ああ、私は長老派、メソジスト派、ルーテル派、ペンテコステ派なんでも。私、これか、それとも他のことなのです。」ほら、それが感覚なのです。「私は最初の教会に属しています。ああ、私はカトリックです。私は一私、これです。」ほら、あなたはそれを言う。さて、それは感覚です。あなたはそれは宗派で何か大きなものだからと言いたいのです。「まあ、私たち——私たちには、ほとんど世界中のどの教会よりも、多

くの会員がいます。ほらね私たちは…」

しかし、本当の教会は一つしかなく、あなたはそれには参加しません。あなたはそれに生まれました。分かりますか？そして、もしあなたがその中で生まれたなら、生きている神はあなたを通して彼自身を働かせ、彼自身を知らせます。分かりますか？それは神が宿られるのは彼の教会の中なのです。神は毎日教会に行き、ただ教会の中に生きているのです。彼はあなたの中に宿られています。あなたは彼の教会です。あなたは彼の教会です。あなたは神が宿る幕屋なのです。あなた、あなた自身は、生きる神の教会です。そして、生きる神が彼の生きている生き物の中に宿っているなら、あなたの行動は神のものです。そうでなければ、神はそこにいません。彼はあなたにそのように振る舞わせませんでした、彼がここでみことばで言ったとき、彼の青写真は「それをしないでください」とあなたはそれをしに行きます。ほら、それは間違っています。それを否定するとき、それは命があなたの中にさえないことを示しています。分かりますか？そうです。

67 信仰はモーセを従順の道へと導きました。注目してください、モーセは…若いパロがいて、若いモーセがいて、両方とも機会があります。モーセは人々のそりしを見て、すべてのエジプトが持っていたよりも大きな宝と数えていました。そして彼は信仰によって導かれ、彼の信仰がみことばに語ったことに従いました、そしてそれは彼を従順の道へ導き、そして最終的には神のご臨在の下で永遠に死ぬことのない栄光へと導きました。視覚と感覚、そして魅力がパロを彼の死に導き、エジプト、彼の国家を破壊しました、そしてそれはそれ以来二度と戻ってきません。

68 そうということなのです。これを見て、あなたは死にます。あれを見てください、あなたは生きています。今あなたの選択をしてください。それはエデンの園で神がアダムとエバの前に置かれたのと同じことです。分かりますか？信仰によって、あなたはあなたの選択をしなければなりません。

今注目してください、視力はパロを彼の死と彼の都市の破壊に導きました。

モーセは信仰を持ってパロを恐れることはありませんでした。分かりますか？彼はパロが言ったことを気にしませんでした。彼はパロを気にせず、彼の母親と彼の父親が彼らの脅威に気を配っただけでした。モーセが彼に確認されたとき、彼はエジプトを救ったその人でした…またはエジプトからイスラエルを導きました、彼はパロが言ったことを気にしていませんでした。彼は彼を恐れていませんでした。アーメン、アーメン、アーメン！私の言わんとしていることが分かりますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]

信仰に恐れはありません。信仰はそれを知っています。信仰、いつも言ったように、胸には大きな大きな筋肉と髪があります。信仰は言った、「黙れ！」そして誰もが黙っている。それだけです。「私は今どこにいるか知っています！」

彼らの残りは「まあ、今、多分彼はそうします」と言います。分かりますか？

しかし、立ち上がって筋肉を見せなければなりません。それだけです。信仰はそれを行います。

69 注目してください、モーセは神が彼の召命を立証した後、パロを決して恐れませんでした。モーセは彼がそのように召命されていたと信じていたが、神が彼に「そうだ」と言われた時、降りてきてパロ、そして彼らの残りの全員の前に、彼がそれをするために送られたことを示したとき、モーセはパロを決して恐れていませんでした。

しかし、パロはモーセに彼の知恵を使ったことに注目して下さい。見てください。彼は言いました、「私はあなたに何を話すか、私はあなたと合意をします。」疫病が彼を食い尽くした後、彼は言いました、「私はあなたと合意をします。あなたはちょっとした礼拝に3日間行きます。ただここまで行って、それ以上遠くに行かないでください。」しかし、ご存知のように…それはパロの感覚が彼に言ったのです、「あなたはただここまで行って、それ以上遠くへは行かないでください。」

今日、それと同様の事を得てはいないですか？「教会に参加するだけでいいのです。」

70 しかし、ご存知のように、モーセが「これまで」の宗教を信じていなかったという信仰。彼は言いました、「私達はすべて行きます。私達は最後まで行きます。そうです。私たちは約束の地に行きます。私達はただ、ここに行くには、宗派にさせるか止めるのです。私たちは続けます。」アーメン。「私は約束の地に行きます。神は私たちに約束されました。」

今日、何人のパロが説教壇、組織の頭に立っていますか！「今、もしあなたがこれをし、それをするなら、それだけです。まあ、ほんの今のところ。」

しかしモーセは言いました。「オー、ノー!いやいや!いやいや!」分かりますか?

パロは言いました、「まあ、なぜしないのですか?あなたがそのような種類の宗教を持つつもりなら、私はあなたが何をするかをあなたに話します、あなたと長老たちだけが礼拝に行くのです、ほら。あなたと長老たちだけが礼拝に行きます。なぜなら、皆さんはそのような宗教を持つことができますが、人々の間でそれを得ないでください。」

71 あなたはモーセが言ったことを知っていますか?「ひづめさえも残されません。私達は最後まで行くのです。みんな行くぞ!彼らが行かない限り私は行かない。そして、私がここにいる限り、私はあなたの手にあります。」アーメン。「彼らも行くことができない限り、私は行きません、そしてそれだけです。」ああ、なんて勇敢なしもべ!アーメン。「私は彼らを連れて行きたいです。私がそれを持っているからといって、座って「さて、今、これで大丈夫」と言いますか?いいえ。私たちは人々も欲しいです。私たち一人一人が行きます。」アーメン。彼は言いました、「私達はすべての羊、または何かを後に残すつもりはありません。ひづめがなくなることはありません。私たちは皆、約束の地に行きます。」アーメン!

「私たち全員が!主婦でも、小さなメイドでも、老婦人でも、若い男性でも、老人でも、あなたが何であれ、私たちはとにかく行きます。私たちの一人が残される事はありません。」アーメン。「私たち一人一人が行き、私たちは他に何も止めません。」そうです。何と素晴らしい!彼らの宗教は本当にそこで議論されていましたね?ああ、何という事!

いいえ、モーセはここで「これまでのところ」というようなの宗教を信じていませんでした。いいえ、彼はそれを信じていませんでした。ええと。はい、そうです。ああ、何という事!

私たちは一日中それを続けることができましたが、しばらくして私のテキストを得て、説教を始めなければなりませんでした。

72 注目してください、これに注目してください。なんて美しいのでしょうか。ああ、私はこれが大好きです。ご存じのとおり、最後に、パロは「出て行け!」と言いました。神はモーセの声で彼を苦しめました。彼はすべてを打った。彼はやるべきことをすべてやった。彼は止めました…彼は一日の真ん中に太陽を沈めました。彼は他のすべてをしました。彼は日々を暗くしました。彼はカエル、ノミ、シラミ、その他すべて、火、煙、死を家族にもたらしました。彼がすべての事をして、終に最後に、パロが言わなければならなくなったのです「出て行け!持っているものすべてを持って行け。」ああ、なんて素晴らしい!神に賛美しましょう!

悪魔が彼と何をしていたかわからなくなるまで、人が神に完全につかえるようになるのをとても嬉しく思います。そうです。悪魔が「オーなんてことだ、邪魔だ出ていけ!それ以上聞きたくない。」と言うまで完全に神に従っていました。そうです。あなたはそれを完全に行うことができます。

73 もし、今、神がモーセを支持しておられなかったら、彼は笑いの種になった事でしょう。しかし、神はそこにいて、確認しました。彼が言ったすべてが起こるのです。

そしてパロは彼の立場を保持しなければなりませんでした、なぜなら彼は司教だったからです、彼はそこに留まらなければなりませんでした。彼は否定できませんでした。それはすでに起こっていたので、彼はノーと言うことができませんでした。分かりますか?彼はそれをできませんでした。彼はそれを否定できませんでした。なぜなら、それはすでに起こっていたからです。それで終に彼は言いました、「ああ、ただ出て行け!もうあなたの話を聞きたくない。ここから出て行け!持っているものをすべて持って、行け!」ああ、何と素晴らしい!

74 神が彼のために多くのことをされ、彼に多くのしるしと奇跡を示した後、今、私たちはここでモーセに見つけます。さて、次の15分間、これをここに置きましょう。そして、本当にしっかりと見て下さい。モーセはこの場所に来て、彼は…

神は言われました、「私はあなたと共にいる。あなたの言葉は私の言葉です。モーセ、あなたにそれを証明しました。あなたは、その土地にハエがいなかったとき、それは季節外れでした、そしてあなたは「ハエよ来い」と言った、そしてハエが来た。」それが創造なのです。神以外に誰が地に暗闇を齎すことができるのでしょうか?彼は言いました、「暗闇よあれ」と暗闇がありました。あなたは「カエルがそこいるように」と言いました、そしてカエルはパロの家、ベッドの中、そして彼らがそれらを積み上げたところにもいました。創造主!「そして私はモーセ、あなたを通して話し、そしてあなたの唇を通してわたしの言葉を創造させた。私は実際にパロの前にあなたを神(小文字)にしました。」はい、そうです。「私はこのすべてをやった。」

そしてここで彼らはある場所に来て、小さな裁判が起こり、モーセは「私は何をしようか」と叫び始めました。

75 皆さんに気が付いて欲しいのです。これはここで今日において素晴らしい学びです。私はこれが大好きです。見て、モーセ、もし我々がここを正しく読んだなら、モーセ…子供たちが怖がり始めたとき、彼らはパロが職務の列を追っかけて来るのを見ました。

神がすべてを完璧に実行されました。今、彼は彼らの旅を始めました。彼は教会を一緒にしました。彼らは呼び出されたのでした。彼らはあらゆる宗派から来ていました。彼らはみんな集まった。モーセはそこに戻って、「主よ、私は何をしなければなりませんか?」と言いました。

彼は「まあ、行ってこれをせよ」と言われました。そうだ、進んで。「さて、モーセ、私がこれをするようにあなたを呼んだことを知っている。」

「はい、主よ。」

「よし、行って、これを話せ、そしてそれは起こるであろう」ハエが来ます。「これについて話しなさい」そしてここにそれが来る。「これをやってください」、それがここに来ます。全てが、主がこう仰せになり、主が仰せになり、主が仰せになられたことだったので!さて、彼は問題を抱えています…

76 そして神は言われました、「さて、私は彼らに彼らの旅を始めさせました。彼らはすべて呼び出された。教会は一緒なのでだから、私は彼らを彼らの旅に連れて行きました。さて、モーセ、彼らを引き継いでください。私はあなたに言いました。私は座ってしばらく休むつもりです。」

モーセは言った、「主よ、見て来ています、パロが来ています!人々は皆…私は何をしなければなりませんか?私は何をしなければならないのですか?」見て下さい、ほら、それはただの人間ではなかったですか?はい、そうです。「私は何をしなければならないのですか?」と叫び始めます。

ここで私たちはモーセが表現的に、完全に人間の本性を見て、常に神があなたの後ろに居てあなたを何かに押し入れて欲しいと望んでいるのが分かります。さて、それが今日の私たちです。私たちが見たすべてを見た後、あなたは神を望みますが、あなたは神があなたに何かをするように押し付けて欲しいのです。分かりますか?

モーセはただのんびりして言いました、「神様、あなたに尋ねます、あなたが言われたことを見たいのです。そうだ、あなたがそれを言うのだ。まあ、大丈夫、私もそれを言います。」分かりますか?

しかし、ここで神は彼をその仕事のために定め、彼が彼と一緒にいたことを証明しました。そして、ここに彼がいる状況が現れ、そして彼は叫び始めました。「私に何が出来るのか?主よ、私に何が出来るのですか?」

77 さて、あなたは覚えています、彼はすでにここで預言しました、なぜなら彼は言ったのです、「今日あなたが見るこれらのエジプト人達を、あなたはもう見ないでしょう」。そしてその後即座に「神様、私たちに何が出来るのか」と叫び始めます。分かりますか?彼がそこで預言することでかなり良い仕事をした後。ほら、彼は何が起こるかを彼らに話しました。神のことが彼の中にあつたなら、それは彼の中にありました。そして彼がそれを言っていたとき、それは実際に実現しました。彼が言ったことはすでに実現することになっていたのです、そしてここで彼は「私は何をすることになっているのですか?」と叫んでいました。

ああ、それが人間でないなら!それが私でないなら!それが私でないなら!分かりますか?

彼はすでに証明しました、「あなたが言うことは起こるでしょう。私はあなたと共にいる。」

そして、ここで状況は一瞬にして上昇しました。「私は何をしなければなりませんか?主よ、私は何をしなければなりませんか?主よ、あなたはどこにおられるのですか?あなたは聞いて下さっていますか?私は何をしなければならぬのですか?」そして主はすでにモーセを定め、そして立証し、そして彼を通してすべてを証明し、働かせました。そしてここに、「神様?」ああ、何という事!完全に表現されていて、人は休んで、神に押させたいのです。

78 そして、それでも、彼は神が彼にこの仕事のために油注ぎ、これを行うことを知っていました、そして神は彼の主張をはっきりと立証しました。人々が救われる時が来ました。神は、彼の奇跡と不思議を通して、そ

れらすべてを一つのグループの内に引き寄せられました。あなたは私に従いますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]彼らをすべて1つのグループにまとめ、彼の主張を立証しました。聖句がそう言っています。ここに印があり、ここに証拠があり、彼が言ったことすべてがここにあったのです。それから彼は預言者として彼らの中に来ました。今まで、彼が言ったことは何でも、神はハエを創造して連れてきて、存在をもたらすことさえもそれを称えられました。そして、彼が彼に約束したすべて、ここで彼はそれをしました。

しかし、彼は主がこう仰せになられるに仕えていたかったのです。分かりますか？彼は彼の召命のまさに正当な根拠が「主を仰せられたこと」であることを知っているべきでした。彼が叙階された彼の仕事は、主が仰せになられたことでした。それが分かりますか？[会衆は「アーメン」と言います。]うん！なぜ彼は主が仰せになられることに仕え待っていたのですか？

79 彼が欲しかったのは「主よ、私に何ができるでしょうか？ここで、私はこれらの子供たちをここまで連れてきました、ここまで。ここに状況があります、パロが来ています。彼らは皆死ぬでしょう。私は何をしなければなりませんか？私は何をしなければならぬのですか？」うん！うん！

彼はすでに彼らが何をするかを予測していた。彼はすでにそれを正確に何をすべきかを言っていました。彼はそこに育てられたまさにその国の終わりを予測していました。皆さんが理解して下さるように望んでいます。[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]分かりますか？モーセはすでに言いました、「あなたはもう彼らを見ないでしょう。神が彼らを滅ぼされるでしょう。彼らは十分に長い間あなたをからかってきました。神が彼らを滅ぼされるでしょう。」彼はすでに彼らに何が起こるかを予測していました。

次に、「主よ、私は何をしなければなりませんか？」そこに人間の本性が見えますか？分かりますか？「私は何をしなければなりませんか？主が仰せられるのを待つつもりです。」はい、そうです。「私は主の言われることを見て、それからそれをします。」ああ！

覚えておいてください、当時、ちょうどその当時、ご存知ですね。ヨセフを知らないパロが立ち上がっていました。分かりますか？分かりますか？そしてモーセは立ち上がってその国の終わりを予言しました。

80 そして、ここで彼はそれが起こっているはずの場所にちょうどいたので、彼は叫びました、「主よ、私は何をしなければなりませんか？私は何をしなければならぬのですか？」分かりますか？それは人間ではありませんか？ただの人間の本性ではないのですか？「私は何をしますか？」ああ！

彼はすでに預言されていました。神は彼が言ったすべてを尊重され、その仕事のために召されたので、なぜ彼は「私は何をしなければならぬのですか？」と言わなければならなかったのですか？必要がありました。それについて話すのは彼次第でした。神はモーセに、彼が与えた信仰の賜物を働かせることを望んでいました。神はそれを立証しました。それは真理でした。そして神はモーセを望み、モーセと共におられることを人々に見てほしかったのです。

そして彼はそこで戻って、「今、主よ、私はただの赤ん坊です。私にあなたが教えて下さい」

「はい、私はこれをしに行きます。私は主がこう仰せになられるを得ました。」

「兄弟よ、それは主が仰せになられたことなのですか？」

「そうです、そうです」とモーセ兄弟は、「それは主が仰せになられたことです。はい。」

「オッケー、私たちは今それを手に入れました、主が仰せになられたのです。」そして、それは起こりました。一度も失敗したことはありません。失敗したことはありません。

そして、ここでその状況にあり、再び現れます。今、彼が彼を旅に連れて行っています。教会はすでに呼び出され、彼らを旅に連れて行き、彼らは上に向かっています。そしてモーセは叫び始めました、「主よ、それは主が仰せになられたことですか。私は何をしなければならぬのですか？」よし

81 神はモーセに、彼が与えられた賜物に、彼が置かれた信仰、明らかに立証されたもの、を持っていることを望んでいました。神はモーセと民に、それが神であること、みことばによって、また伝えられたことによって明らかにされたのです。それは明確に識別されました。彼はそれについてもう心配する必要はありませんでした。分かりますか？それはすでに片付けられていたので、彼はそれについて何も考えていませんでした。彼はすでにこれらのことをしていました。そして彼はハエやノミによって、彼が神のことばが彼の中にあることを創造に話しかけたことをすでに証明していました。

だから、ここで彼は今、状況が彼の目の前にあるときに何をすべきかを尋ねるつもりです。分かりますか？ああ、何という事！

これが私たちにしっかりと来ることを望んでいます、それによって私たちがどこにいるかがわかります。分かりますか？それはあなたに大きな事を感じさせませんか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]モーセが自分の過ちを告げるのを考え、私たちの過ちを見てください。ええ。分かりますか？

82 ここで彼はそこに立って、ほら、聖句にはそれが起こる時であり、神が火の柱の中におられて彼に会われたことを知っていたと知っていました。そしてそれは人々のすぐ前に行き、これらの奇跡を行いました。そして、彼が言ったすべては、物事を創造に移すことさえ、実現します。神のみができることをし、神の声が神の声であることを示しました。

そして、ここに、彼が育てて約束の地に連れて行く環境があり、立って「私は何をすべきか」と叫んでいた人々の状況がありました。それは人間です、ただ…

ロイスローター兄弟として、私は彼がそのドアの外に座っていると思います、誰かが私に何かをしていることについて私に一度話しました。そして私は言いました、「まあ、私はこれをしました、そして今それがそれです。」

彼は言った、「ブラナム兄弟、彼らに今日あなたの肩に寄りかかって、そして明日あなたはそれらを入れてください。」そして、それは人間のあり方です。今日は肩に寄りかかり、明日は荷物をまとめます。

それだけです、それがモーセがしていたことです。神が彼を定め、それをするを証明した後、共に荷造りしなければなりません。そして民は言うべきでした、「モーセ、言葉を言ってください。あなたがそこでやるのを見ました。神はそこであなたに榮譽を与えました、そしてあなたは今日も同じ方です。」アーメン。分かりますか？「やりなさい！」アーメン。彼はそれを知っているべきでしたが、知りませんでした。よし当時と同じように、今もそうです。それを見出しました。それで彼は「モー…」と言われました

83 神はそれを十分に理解されていたに違いありません。神はうんざりしているに違いありません。彼は言いました、「なぜあなたは私に叫んでいるのですか？私はすでに身元を証明していませんか？私はあなたを仕事のために送ったと言いませんでしたか？私はこれをするようにあなたに言わなかったのですか？私がこれをするを約束しませんでしたか。私はあなたの口と共にいて、あなたを通して話し、これをします、そしてあなたは印と奇跡を示すのではなかったですか？私はこれをするを約束しませんでしたか？あなたの周りの全ての敵を破壊してその通りにやりませんでしたか？そして、ここであなたは今立っていて、ここ紅海で、私があなたにするようにあなたに言った事、そして私があなたに告げた事の真っ最中です。そしてそれなのにまだ私に泣きついているのです。私を信じていないのか？私がこれをするためにあなたを送ったことがわかりませんか？」ああ、それが人間でなければ！何という事！ですから、彼はただかなりうんざりしているに違いありません。

84 そして彼は言われました、「あなたはあなたがそれを必要としていることを知っています。あなたはこれらの子供たちを約束の地に連れて行くことについて知っています。それはまさにその通りです。あなたはここの隅に固まっている。他にできることはありません。だから必要があります。あなたは私に何について泣いているのか？あなたは私を何のために見えていますか？私に何を求めているのですか？私はそれをその為に証明しませんでしたか？私はそれをあなたに証明したことがなかったか？私はそれを召命しなかったか？それは聖句に叶っていないか？私はこの人々をその土地に連れて行くと約束しなかったか？私はあなたを召して、私はそれをするだろうとあなたに言わなかったか？私は召命して、私があなたにそれをするように送ったと言わなかったか、それはあなたではなく、私でなかったか？そして、私は降りて、あなたの唇と共にいるのです、そしてあなたが言ったことは何でも、私はそれを義化し、それを証明します。私はそれをしなかったか？

「では、何か小さなことが起きたとき、なぜ赤ちゃんのように振る舞うのですか？あなたは大人の男であるべきです。その民に語りなさい」アーメン、「それから前進しなさい！」アーメン。そういうことなのです。「泣かないで。話しなさい！」アーメン。ああ、私はそれが好きです。「なぜ私に叫んでいるのですか？ただその民に話しかけ、あなたの目的に向かって進んでください。それが何であれ、それが病気、またはそれが何であれ、死者を蘇らせること、またはそれが何であれ、話せ！私はそれを証明しました。その民に語れ。」

85 なんとこの教訓でしょう！私たちが立っている旅のこの段階で、なんとこの教訓でしょう。私たちが今どこにいるかを見てください、第3の引き、はい、そうです。注目してください、私たちはこのドアにいます、主の来臨の時なのです。

彼はその仕事に油を注がれ、まだ主がこう仰せになられるのために待つて仕えていました。神はそれを十分に得ていたに違いありません。彼は言いました「もう泣かないで語りなさい!送りました。」

神様、この教会は今朝何であるべきなのでしょう!神の完全な立証、火の柱、しるしと奇跡で、ソドムの時代とちょうど同じようにすべてのものがあります。彼はそれが戻ると言った。

ここにその状態にある世界があります。国家はその状態にあります。その状態の女性達があります。その状態の男があります。教会はその状態にあります。すべてがあります。要素、印、空飛ぶ円盤、空にあるすべて、あらゆる種類の神秘的なもの、そして海のうなり声、津波、人間の心は怖れにおののき、恐怖、時間の困惑、国家間の苦痛、教会は崩壊しています。

86 そして、何よりも自分を支持する滅びの子が現れているのです。神と呼ばれる人、神の神殿に座って、自分を見せて、この国に来ました。なんていう事、この国にもう来ていました。そして教会は組織しました、そして、それらのすべては、娼婦(大淫婦)への売春婦として、そして正確に娼婦(淫婦)のやり方ですべてが集まりました。

淫婦の家、それは何ですか?髪を切ることができると女性に伝え、短パンを履いても良いと女性に伝え、男性はこれを行うことができ、これを行うことができると伝えます。そして説教者達は、これを行い、社会的な福音と物事を行います。分かりませんか、それは真のみことばと姦淫しているのです!

そして、神は私たちに彼の真の言葉を、宗派に関係なく、無条件で、私たちに30年の間私たちと共に聖霊、火の柱を与えてくださいました。そして、彼が予測して言ったすべてのことは、彼がそれをした方法と全く同じようになります。

87 人々に話しかけ、先に進みましょう。アーメン。私たちは目的を手に入れました、それが栄光です。それに移りましょう。私たちは約束の地に向かっています。「信じる者にはすべてのことが可能です。」「人々に話さない。私はそれを証明していませんか。私があなたと一緒にいることを証明するために、あなたや他のすべての人の間で私の絵を作ったり、できることすべてをしていませんか?ほんの数週間前の雑誌は、ここで説教壇でここで何が起こるかを前に言って立証された、3か月前に言ったときの記事を詰め込んでいませんでしたか。科学でさえそれについて知っています。そして、私は全てをしたのにあなたはまだ待っています。その民に話し、あなたの目的に向かって進んでください。」アーメン。

ナタンはダビデに言いませんでしたか?預言者ナタンはある時座って、油そそがれた王ダビデを見て、言った「あなたの心にあるすべてのことをしてください。神はあなたと共におられるからです。」ダビデに言いました、「あなたの心の中にあるすべてのことをしてください。神はあなたと共におられます。」

88 ヨシユアはその土地を神とその民のために取るように油注がれました。その時代は短かった。彼は油そそがれて任命された仕事のためにより多くの時間を必要としました。ヨシユア、男、彼は油そそがれていた。神は彼に言われました、「私はモーセと共にいたように、あなたと共にいるでしょう。」アーメン。「その土地、私は彼らにそれを与えるつもりです。そして、私はあなたがそこに行って、アマレク人と、そしてヘテ人と…を片付けて欲しいです…他のすべての人、ペリシテ人とペリジ人、そしてすべての異なる人々、彼らを清めなさい。私はあなたと共にいる。私は…あなたの人生のすべての日の間、人はあなたの前に立つことはありません。誰もあなたを悩ませることはできません。そこに進んでください。」

そしてヨシユアはその剣を抜き、「私に従って来なさい!」と言いました。

そして彼はそこに行き、ここで彼は戦っていました。そしてそれは何でしたか?彼は敵を迂回しました。彼らはこの小さな集まりがありまたその小さな集まりでした。夜になると、彼らは皆集まり、一緒に駐屯し、彼に対して大きな力をもって来るでしょう。そして、太陽が沈んでいった。彼はもっと光を必要としていました。太陽が沈んでいった。彼はひざまずいて行ったりはしませんでした、「主なる神様、私は何をしますか?どうすればいいですか?」彼は話しました!彼には必要がありました。彼は言いました、「太陽よ、動くな!」彼は何も泣きませんでした。彼は命じました。「太陽、留まっていなさい!私はこれを必要としています。私は主の僕であり、この仕事のために油を注がれ、必要がある。日よとどまれ、輝いてはならない。そして、月よ、その場所にやすらえ。」彼が戦いを戦い、すべてを打ち倒すまで。そして太陽は彼に従った。

89 何も叫びはしなかった。彼は太陽に向かって話していった、「そこに留まっていなさい。太陽、そこに居なさい!そして、月、あなたは今いる場所でやすかれ。」彼は叫びませんでした、「主よ、今私は何ができますか?もう少し日光をください。」彼は日光を必要としていたので、彼はそれに命じました、そして太陽は彼に従い

ました。ああ、何と素晴らしい！彼は太陽に静止するように命じました。

サムソンは油を注がれ、引き上げられ、神から定められ、権力の賜物を与えられ、ペリシテ人の国を滅ぼすために定められました。地上で生まれ、神の油そそがれた聖職者を定め、ペリシテ人を滅ぼしました。そしてある日、彼らは彼の剣なしで、槍なしで彼を野原で見つけました。そして、それらの装甲されたペリシテ人の1000人が彼に一度に走ってきました。彼は降りて、「主よ、私はビジョンを待っていますか？主よ、私は何をしなければなりませんか？今私に何をすべきか指示してください？」彼は必要があることを知っていました。彼はラバの古いあごの骨だけを見つけ、彼は千人のペリシテ人を倒しました。アーメン！

彼は決して神に向かって泣きませんでした。彼は油そそがれた賜物を使いました。彼はその仕事をするために送られたことを知っていた。彼はそのために生まれたことを知っていました。彼は賜物が油を注がれたことを知っていて、彼は千人のペリシテ人を打ち負かしました。彼は神に叫びませんでした。神は彼を定め、彼がした他のことによって彼がそうであったことを立証しました。そして彼はペリシテ人を滅ぼすために、神の油そそがれ立証された僕でした、そして彼はそれをしました。どんな状況であっても、彼はそれをしました。彼は何も尋ねませんでした。それが彼の仕事でした。それは、神が彼を介して対処していたのです。そのラバの骨を拾い、ペリシテ人を倒すために行ったのでした。どのように…

90 なぜならば、人がそのようなものによって舐めると、そのような真ちゅうの真鍮の頭蓋骨の1つを横切つて、その骨が100万に砕けたのです。そして彼は彼ら千人を打ち負かし、彼らを殺しました、そしてそれをまだ彼の手に持っていました。

何の質問もしませんでした。彼は叫びませんでした。彼は話しました。彼は彼らに決めていました。ああ、何と素晴らしい！「ペリシテ人を連れて行きます、主よ、ペリシテ人を連れて行ってもいいですか？主よ、あなたがそれをするために私を送ったのを知っています。はい、主よ、私があなをこのペリシテ人の国を滅ぼすために私を遣わしたことを知っています。さて、ここでは、私の周りに千人もいて、私は何も持っていない。主よ、何をしますか？」ああ、何という事！彼を悩ませるものは何もない。彼はその仕事のために油注がれています。害を及ぼすことはありません。いいえ、何も邪魔するものはありません。ハレルヤ！彼はただ持っていたものを取り、彼らに打ち込んだだけです。そうです。

91 敵が彼をフェンスで囲んだとき、「さて、彼を壁に入れました、今、私たちは彼を捕まえました。私たちはこの女性と一緒にここに彼を入れました。今、私たちはドアをどこでも閉めました、そして彼は出られません。私たちは彼を得ました。」

サムソンは叫びませんでした、「オー主よ、彼らは私をすべてこの宗派で囲い込みました」。ああ！「ええと、私は何をするのでしょうか？私は彼らと一緒に参加しました。私は何をするのでしょうか？」彼はそれをしたことはありません。

彼はただ出て行って、門を引き下げて、それを彼の肩に置いて、それとともに歩み去りました。アーメン！彼はその仕事のために油注がれていました。彼は神に呼ばれていたのでした。彼を囲い込みませんでした。いいえ、確かに！彼は門を取りました。彼はそれについて祈りませんでした。彼はそれをするかどうかを神に尋ねませんでした。それはただ仕事の流れだったのです。アーメン、アーメン、アーメン！職務の範囲内だったのです。「なぜ私に泣くのですか？話して、続けて！」アーメン！「泣かないで。話しなさい！」彼は今、泣き言をやめて、ささやきをやめました。話すのに十分な年齢になる必要があります。そうなのです。彼は油そそがれた力の賜物が彼の前に立っていたペリシテ人を破壊することができることを知っていました。アーメン。

92 しかし、私たちはそれを知りません。私たちはまだ小さな赤ちゃんで、口の中に哺乳瓶を持っています。

彼はそれを知っていました、彼は神がその目的のために彼を立ち上げたことを知っていました、そして彼の生涯の間、何も彼の前に立つものはありませんでした。何も彼を破壊することはできませんでした。彼はモーセと同様にその目的のために立ち上げられました。彼を止めるものは何もない。アマレク人も何も彼を止めることはできません。彼は約束の地への道を進んでいます。サムソンは彼が道にいることを知っていました。

ヨシユアは彼が土地を取っていることを知っています。彼は立証されていた。神の言葉がそれを約束していました、そして、聖霊はそこでそれを立証しました。

93 彼は彼の道にいたので、彼の邪魔になるものは何もありませんでした。いいえ。業務の範囲内で神と共に、彼の邪魔になるものは何もありませんでした。それで、彼は門を取って肩に乗せ、重さは約4～5トンでし

た、そして丘の上に登って行きそれらの上に座ったのです。彼の邪魔をするものは何もない。彼は神から油そそがれた賜物を持っていました。彼は「主よ、今何をしなければならぬのですか」と叫ぶ必要はありませんでした。彼はそれをするために既に油注がれていました。それが主が仰せになられたことでした「彼らを取り除きなさい!」ハレルヤ!「彼らを取り除きなさい!私はその目的のためにあなたを立ち上げました。」アーメン。

「主よ、私は何をしなければなりませんか?ああ、私はここ紅海で何をすることになっているのですか?」

「ここを出ていくために山をあげたと言いませんでしたか?あなたはその山に戻ってきて、あなたはこれらの子供たちをその土地に連れて行くことになっているのです。その目的のためにあなたを召命したのではありませんでしたか?他に邪魔になるものについて何を心配していますか?話して、動き始めましょう!」アーメン、アーメン!「そうです、この目的のためにあなたを召命しました。」

94 ダビデ、彼は油そそがれていることを知っていて、良いショットになることを立証されてきました。彼は彼らが彼が良いショットであることを知っていたことをご存知でした。ダビデは油そそがれていました。彼はそれを知っています。そして、彼がゴリアテの前に立ったとき、彼は決して「神様私はいま何をするのですか?」とは叫びませんでした。待ってください、私は一私は…あなたが過去に何をなさったか知っています。あなた、あなたは私にクマを殺させ、あなたは私にライオンを殺させた。しかし、このゴリアテはどうですか?」とは言いませんでした。ああ!彼はそれをしたことはありませんでした。彼はただ話しました。彼は何と言いましたか?「あなたは彼らのように、あなたの目になります。」彼は話し、前進した。

彼は決して祈りを祈りませんでした。彼は何も捧げものをしなかった。彼は油そそがれていることを知っていました。アーメン。彼は油そそがれた、そしてその石投げが正しい種類であることを証明しました。彼は油注ぎを信じていました。彼は、神がその石をかぶとの真ん中打つことが出来る唯一の場所にまっすぐに向けることができるという信仰を持っていました。彼はそこに立っていました。

95 彼は自分が良いショットを打つことが出来るを知っていました。アーメン。彼は神が彼をそのように創ったと知っていました。アーメン。彼はライオンを殺した、クマを殺したことを知っていましたが、それは彼の地上の父の所有物によるものでした。ここには彼の天の御父の所有物があるのです!アーメン。彼は降りませんでした。主よ、私は今何をしなければなりませんか?」彼は話して言った、「あなたはライオンとクマのようになるでしょう、そして私はここに来ます。」アーメン!神に栄光を!はい、そうです。彼は話し、このゴリアテに会うために前進しました。ああ、なんて素晴らしい!

彼の大きさに関わらず!彼は小さくて赤い頬をしたひとでした、よね。彼はそれほど大きくはありませんでした。彼は見た目はあまりハンサムではなく、ちょっと小柄な人でした。聖書は彼は血色が良かったと言っていました。さて、彼の大きさやいわゆる能力に関係なく。

ご存知のように、司教は彼に言った、「ここで、息子よ、その男は神学者です。ほら、彼は戦士です。彼は戦士として生まれ、彼は…彼は若い頃から戦士でした。そして、あなたは彼に勝るものはありません。」そして彼の兄弟は言いました、「ああ、お前は子供に過ぎない。そのようなことをするためにここに来て、家に帰りなさい。」

それは彼を悩ませませんでした。なんで?彼は油そそがれていることを知っていました。「そのライオンから私を救った神、そのクマの足から私を救った神、彼はそれ以上に、ペリシテびとから私を救うでしょう。ほら私はここに来たのです。イスラエルの主なる神の御名であなたに会います。」アーメン。祈りませんでした。彼はすでに祈り抜かれていました。神が彼のために天地が創られる前に祈りぬいていました。彼はその仕事に油注がれていました。彼は話して前進しなければなりませんでした。それについて行うことはこれでだけなのです。ただ話して、先に進むこと。ああ、それがすべきことの全てなのです。ああ!彼はしませんでした…

96 彼の宗派の兄弟については、彼らも彼がそこに立っているのを嘲笑しています。知っていますね。ああ、そうです。彼らはそこに立って、冗談を言ってからかい、そして…彼の兄弟たちは、あなたが知っているように言いました、そして「ああ、ああ、ああ、あなたにはできません。お前はいたずらっ子に過ぎない。」そのようなことは彼を少しも動かさませんでした。「あなたは他の人とは違うものになりたいのです。自慢したいだけなのです。」それが見せびらかしだけをされていたなら、それはそうだったでしょう。しかし、彼らは知的な面だけを見ました。

ダビデは注がれた油が彼にあるのを知っていました。アーメン。それは何の違っても彼には齎しませんでした。彼は言いました、「そのペリシテ人はクマとライオンのようになるので、私はここに来ました。」彼はそれが起こる前にそれを予測しました。彼は何をしましたか?彼はクマを殺した。彼はライオンを殺しました。彼は

ライオンを倒しました…何で？石投げで、そしてナイフを取り、それからクマ。ライオン、彼はナイフでライオンを殺しました。それはゴリアテと同じことです。彼は岩で彼を倒し、彼の剣を引き上げて、その目の前で自分の頭を切り落としました。それが起こる前に彼は何を予測しましたか？「そして、あなたは彼らがそうであるようになるでしょう。」なんで？彼はそれが成し遂げられるであろうという言葉話し、それからそれを成就させるために進みました。アーメン。ああ、兄弟！彼は話し、その日の状況を引き継ぎました。

97 人が話すべき時があったなら、それは今です。締めくくりで。もし数分皆さんが耐えられるならば、あと数分です。私はここにいくつかのことを書き留めました、話したかった幾つかの聖句です。

ペテロは、癒されるのに十分な信仰を持つ人、美しいと呼ばれる門に横になっている人を見つけたとき、決して泣きませんでした。彼は決して降りずに、徹夜祈り、または終日の祈り、大きくて長い祈りを持っていませんでした。そして言いました、「主よ、私は祈ります、あなたが今このかわいそうな人を助けて下さいように。彼は信仰を持っているのが分かります。私は彼が信者であることを知っています。そして私は彼に尋ねました、そして彼-彼は…私は…彼は彼は信仰を持っていると言った、彼は私が彼に言ったことを信じるだろう。そして、私は彼に…あなたがなされたことについて話しました、そして私は一私はただ今、主よ—それについて考えているのです…彼のために主が仰せになられるを頂けますか？」

いいえ、彼は油注がれた使徒であることを知っていました。彼はイエス・キリストが彼に命令を下したことを知っていました。「病気を癒し、死者をよみがえらせ、ライ病患者を清めし、悪霊を追い出す。ただで受けたのだからただで与えなさい」彼は言いました、「ペテロ、行ってそれをしなさい！」彼は祈る必要はありませんでした。彼は命令を受けました。

98 彼は何と言いましたか？彼は言いました、「イエス・キリストの御名によって！」彼はイエス・キリストの御名を話しました、そしてその人はちょうどそこに置かれました。そして彼は手で彼を取り上げ、「あなたの足の上に立ってください！」と言いました。そして彼は彼の足首の骨が強くなるまで彼をそこに抱きしめ、そして彼は歩き始めました。なんで？彼は徹夜で祈祷会をしたことはありませんでした。彼は決して神に叫びませんでした。彼はイエス・キリストの唇から肯定されていることを知っていました、彼はこの業のために油注がれました。ええ。彼はその目的のために油注がれた使徒であることを知っていたので、彼は彼に語り建てられました。

彼の影に横たわった人々は決して言わなかった、「ああ、来て、ペテロを使徒にして、私たちの上で泣いて、そして私たちのために信仰の祈りを神に祈りなさい」。いいえ、いいえ、彼らはそんなことは決して言っていません。彼らは彼が油そそがれた、神の使徒であることを知っていました。それで彼らは言いました、「ただ彼の影に横たわらせてください。言葉を言う必要はありません。私たちはそれを知っています。私たちはそれを信じています。」彼らのうちにある命！使徒は彼ら全員に行くことができませんでした。そして彼ら自身、彼らはその一部なのです。

99 モーゼは言いました、「それは私が行くだけではありません。私たちはみんな行きます。」私たちは皆、何かすることがあります。私たちは皆、油を注がれる必要があります。

そして彼らはその使徒がそこに立っているのを見て、彼が病人を癒し、彼がしたことを見ました。彼らは彼が彼らに行くことができなかつたことを知っています。彼らは決して言いませんでした、「ペテロ、来て、そして祈りをささげて、主がこう仰せになられるまで待つてそれを告げに来てください。主が言われているのを見て下さい。」彼らが言ったのは、「もし私たちが彼の影にのみ横たわれるなら、イエス・キリストにあった神そのものが彼の中にあり、私たちも同じことが起こっているのを見るからです。それで彼らはイエスの御衣の裾に触れ、彼の影に横たわりました、そしてイエスはこの人の中にいます。その影が私たちに反射することができれば、私たちは癒されます。」

そして聖書は、彼ら全員が癒されたと言いました。「主よ、私がこの使徒の影に横たわるなら、主よ」と言いながら、徹夜の祈祷会をすることはありませんいいえ、彼らはそれを知っていました。光が彼らを打ちました。彼らの心は満たされていました。彼らの信仰は解き放たれました。アーメン。彼らはそれを信じました。彼らはそれを見た。パウロのハンカチも同じことなのです。

さて、最後に。

100 彼ら精神病の男の子を彼に連れて来たとき、イエスは決して泣きませんでした、てんかんを持っていて、火に落ちました。彼は決して言いませんでした、「父よ、私はあなたの息子です、そして今、あなたは私をここに送り あれこれとあれをするようにされました。この少年を癒してもいいですか？」彼はそうは言いません

でした。彼は言いました、「彼から出て来なさい、サタン！」彼は話しました、そしてその少年は元気になりました。

彼が二千人の悪魔と一緒にレギオンに会ったとき、イエスは泣いては居ませんでした。「あなたが私たちを追い出すつもりなら」と叫ぶのは悪魔でした。ああ、私、「私たちはその豚の群れに行くようにして下さい」。

イエス様は決して言われませんでした、「父よ、私はこれを行うことができますか？」彼は「彼から出て来なさい」と言った、そして悪魔は彼らは飛び出すことになった。確かに、彼は彼が救世主であることを知っていました。

101 ラザロの墓で、彼は4日間死んでいました。彼らは言いました、「もしあなたがここにいたら主よ、彼は死ななかつたでしょう。」

彼は言われました、「私は蘇りであり命である。」アーメン！どこで、いつ、どのようにではなく。「私を信じているものは、死んでも、生きるであろう。」アーメン。彼は彼が誰であることを知っていました。彼は彼が何であることを知っていました。彼は彼がインマヌエルであることをご存知でした。彼はご自身が蘇りであることを知っていました。彼はご自身が命であることをご存知でした。彼は彼の中に神性の全てが自身の体に宿っていることを知っていました。彼はそこで彼らの小さな人々を見ました、そして彼は神がその時彼に言われたことを見て、そして彼はそこにいました。彼はそこに行きました。

彼は決して言いませんでした、「さて、待つて、私はここでひざまずきます。みなさんはひざまずいて祈ります。」彼は言いました、「あなたは私がこれをする事ができると信じますか？」アーメン。彼はそれを求めました。

それは彼ではありませんでした。それは彼らでした。「はい、主よ、私はあなたが世に来ることになっていた神の御子であると信じています。」ああ、素晴らしい！そこで彼は識別されています。何かが起こらなければなりません。

「ラザロよ、出て来なさい！」彼が話し、死んだ男が出てきた。「私にできますか？」ではありません彼はただ話しました。信仰が満たされた時、物事は起こりました。

102 彼は話し、彼は話しました、そして盲人は見えるようになり、足の不自由な人が歩きました、耳が聞こえなかった人が聞こえるようになりました、悪魔は叫び、出てきました、死者は蘇っていました、すべて。なんで？彼は祈りませんでした。彼はメシアとして油注がれていました。彼は救世主でした。彼は彼がそうであったことを知っていました。彼は自分の立場を知っていました。彼は何をするために送られたかを知っていました。彼は父が彼が救世主であることを信者に確認したことを知っていました。そして彼が信仰を持ってその信者に会ったとき、彼はただ御言葉を話しました。悪魔が散らされました。はい。「話す！泣かないで。話しなさい！」アーメン。

そして彼は神から与えられた権利を知っていましたが、私たちは知りませんでした。彼は彼が何であることを知っていました。私たちはしません。

モーセは忘れていました。サムソンは理解していました。他の人は理解していました。ヨシユアは理解していました。モーセは忘れていました。神はそれに注意を向けなければなりません。彼は言いました、「なぜあなたは私に泣いているのですか？私はあなたにその仕事をするように送りました。話して、あなたの目的に進んでください。私はあなたにこの山に来るようと言いました。彼ら子供達を連れて行き、彼らを導きなさい。ただ話しなさい。どんなものがあるかが気にしないが動かして動きなさい。私はあなたにそれをする権限を与えます。私が話しました…あなたはハエとノミ、そして創造そしてそのようなものごとの事を話しました。さて、あなたは私に何を叫んでいますか？なぜあなたは私に来て、これらのことを叫ぶのですか？話し、それが動くのを見てください、それだけです。」ああ、何という事！ああ、なんて好きなんだ！

103 ここで、イエス様、彼が言われたすべてのこと、彼は御言葉を話しました、そしてそれはなされました。神は的確に彼が彼の御子であることを立証されました。「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。イエスから聞け。」

彼を見てください。私はこれが好きです。どれほど勇敢で、彼が批判家の前でどれほど荘厳に立っていたか。アーメン。彼は言いました、「この神殿を破壊しなさい、そして私は父に祈り、彼がそれについて何をす

るか見るでしょう?」「この神殿をこわしたら、わたしは三日のうちに、それを起すであろう。」「そうしたいですか、そうするつもりです」ではありません。「私がやります!」なんで?聖句がそう言っています。

彼が彼の体を起こし、私たちに権威、権力を与えると言った同じ聖句。アーメン!「わたしの名において、彼らは悪魔を追い出すでしょう。彼らは新しい異言を話します。彼らが蛇を巻き込んだり、致命的なものを飲んだりしても、害はありません。彼らが病気に手を置いたなら、彼らは回復するでしょう。」

「なぜ私に叫ぶのですか?話して、先に進んでください。」ああ、勇敢に私は…

「この神殿を破壊し、私は再びそれを起こします。」ああ!

104 そして、今覚えています(私たちは締めくくっています)、それは彼と同じでした。それは、彼は言いました、ヨハネによる福音書第14章12節で、…「私を信じる者、私もその業をするであろう。」そうですか?[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]そう言われたのは彼でした。

マルコの福音書11:24で「この山に言ったなら」と言われたのはイエスでした。この山に祈ったのではありません。「この山に「動け」と言って、心の中で疑うことはありませんが、あなたの言ったことが実現すると信じているなら、あなたはあなたが言った通りになります。」さて、それをただ出しやばった態度で言うと、それは起こりません。しかし、もし何かがあるあなたの中にあるなら、それはあなたは—あなたはその仕事のために油を注がれ、それが神の意志であると知って、それを言うでしょう、それは起こらなければなりません。「あなたがたは…」

これを言ったのは彼でした。「もしあなたがわたしの中に留まり、わたしの言葉があなたの中に留まっているなら、なんでも尋ねるがよい。そうすればそのようになるであろう。」ああ、すごい!ああ、何と!私の言わんとすることが分かりますか?[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]

105 すみません、しかしそれは私に近づいています。私はそれを言わなければなりませんでした。その日、森の中で、「ゲームはありません」と言われたのは彼でした。そして彼は私たちの前に3匹のリスを立てました。それは何ですか?その言葉を言うだけで、「彼らはそこに、そこに、そこにいるだろう」と言います。それをしたのは彼でした。

チャーリー、ロドニー、それは彼がケンタッキー州にいる彼でした。そして、ネリー、マーギー、そしてあなた方の残り。そこに戻っていて、モーセに話しかけられたのと同じ神は彼で、言いました、「なぜあなたは私に叫ぶのですか?言葉を話しなさい!」彼らを存在させたのは彼でした。それは彼です。それは彼です。ああ、何てこと!

1年ほど前に幻を与えたのは彼でした、私たちがそこに行くと言いました、そしてこれらの7つの封印、そしてどれほど大きな嵐がどのようにそれが始待っていますか?ピラミッドの形。そして、ルック誌…ライフ誌はそれを壁にかけてそれを詰めました。それを言われたのは彼でした。

106 その夜、私とその道を進んでいたとき、その大きなマンバがヘビが私の弟を捕まえようとしているのを見ました。そして彼は言った、「あなたは彼を拘束する力を与えられました、または彼らの残りのいずれかを与えられました。」それを言われたのは彼でした。

そこに座っている私の小さな白髪交じり頭の妻に:その朝、私が部屋の中で目を覚まし、隅に立っていたのは、彼が言った、どこであってもイエス・キリストの臨在の下では決して失敗することはないのです。」

3ヶ月前のサビノキャニオンの向こう側で彼は、私が何が起こるのだろうと思っていた時に祈っていました。私はそこに立っていて、剣が私の手に落ちて、「これは王の剣だ」と言いました。それは彼でした。

「私がモーセと同じように、あなたをお送りします」と言われたのは彼でした。

107 30年前、小さな男の子として川の向こう側に私に言ったのは彼でした。小さな説教者としてそこに立って、30年前の川の上に、同じ火の柱であるその光がそこに立って、天から降りてそこに立って言った、「私はバプテスマのヨハネを最初のキリストの来臨、あなたのメッセージは再臨を予告します。」と全世界に。私の牧師が笑い、それをからかったとき、それはどうでしたか?しかし、それはまさにそのように起こりました。それを言われたのは彼でした。はい、その通りです!

ああ、どのように彼は預言で、幻で「それは実現するでしょう」と言われました。「あなたがたのうちの一

人が預言するか、幻を見て、それを告げ、それが実現するようになったなら、それは彼でした。それから、それは彼ではなく、私です。私は彼と共にいるのです。」ああ、何とも!私は何を続けることができますか、そしてそれが彼であると言うことができます、それは彼です、それは彼です!

108 私が彼らに火の柱が川にあると彼らに言ったとき、降りてきたのは彼であり、彼らはそれを信じることができませんでした。バプテストの説教者がその夜三万人の前にサムヒューストンコロシウムでそこに立っていたのは彼でした。主の天使が彼の写真を撮ってそこに立っていたのです。それは彼、昨日も今日もそしていつまでも変わることがない方なのです。

これらがどこにあるかを予告したのは彼でした。これを言ったのは彼でした。これらのことをしたのは彼でした。彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない方です。彼は彼がそれをするだろうと言ったのと全く同じようにすべてを成し遂げました。アーメン。

なぜ待たなければならないのですか?神はみことばを立証しました。それは真理なのです。旅に出よう。歩きましょう。主の歩みに出て、すべての疑い、すべての罪を捨てましょう。家を片付け、それをこする。

ジュニアジャクソンの幻が言ったように、ランプしか残っていませんでした。または彼がここに座っているなら、彼の夢。ランプ以外は何も残っていませんでした、そして彼らが先夜私に与えた夢の中で彼らは彼の周りに金の帯を持っていました。ああ、何と!

109 コリント兄弟、その魚について心配しないでください。真っ白でした。あなたはそれをどう処理するかを知りませんでした。

それとは反対のすべてを脇に置いてください。覚えておいてください、これはどれほど狂信的に見えるかに関係なく、時にはそれ以外のものすべてに関係なく、真実です。それですぐに進んでください。それは聖霊です。イエス・キリストを死からよみがえらせたのと同じ神、物事を語り出すことができる同じ神、モーセの時代に生きた同じ神は、今日も同じです。

この終わりの時の彼の召命、彼は立証されました。「ソドムの時代のように、人の子の来臨の時にもそうなります。」彼は終わった…そこにソドムがあります。ビリー・グラハムとオーラル・ロバーツがそこにいます。そして教会は、彼が約束したのと同じしるしによって、両方の場所に進んでいます、そして彼らがそこにいます。それを言ったのは彼です。

主よ、私に勇気を与えてください、私の祈りです。主なる神よ、私を助けてください。

ここで辞めなければならない。遅くなってきました。

110 「なぜ私に泣くのですか?私があなたと一緒にいることが証明されたのに、なぜあなたは私に泣いているのですか?私はあなたの病気を癒しませんでした」と彼は言うのでしょうか?「私はちょうど起こったことをあなたに話しましたか?あなたの牧師はそれをすることはできません。何とも!彼はできません。彼は人なのです。主である私が主です」と言われました。「これをしたのは私です。私は彼にこれらのことを言うように言う者です。それは彼ではありません。それは私の声です。私は彼らが落ちたときにあなたの死者をよみがえらせる者です。私は病気を癒すものです。私はこれらのことを予告する者です。私が救う者なのです。私は約束を与える者です。」

神よ、私に勇気を与えてください。約33年前に彼が私の手に入れられたみことばの剣を手に入れ、それを握って第三の引き寄せに進んでください、それが私の祈りです。

頭を下げましょう。

111 天のお父様、時代は遅くなっていますが、みことばはより尊くなっています。私たちがそれを見ると、主は何度も何度も、決して失敗しないキリストの臨在が私たちと出会います。あなたの良さに感謝します!どのようにあなたは私たちを救い、そして私たちを救われましたか、そして私たちを祝福してくださいました。

主よ、私はこれらのハンカチを私の手に持っているので、これを信じるのは信仰を持つ人々です。すべての悪魔、すべての病気が人々から離れますように。そして、私はここですべての霊をチャージしますそしてそれは悪魔であり、神ではなく、すべての病気の霊、すべての病気や苦痛なのです。私たちは人の影に横たわっていませんが、それは大丈夫ですが、私たちは福音の信仰の中にいるのです。

大きな火の柱がこの建物を行き来するとき、神が見下ろされた同じものと紅海がその進路をあきらめ、イスラエルが通過しました。しかし、今、彼が見ているように、慈悲と恵みがあるとき、それは彼自身の御子の血をまき散らして下さっているのです。従順でありますように。私達は今日、言う事や泣きつくことをやめられますように。あなたがこの業のためにあなたが我々を召命して下さったことを認識しますように。これがその時です。私はそれをイエス・キリストの御名で語り、すべての病気をこの場所から離れさせます。

112 イエス・キリストの御名を呼び求めるすべての男女が、今日、新たに彼らの人生を聖別してくださいように。主よ、私は祈りの祭壇の上に聖別します。私は自分自身を横にして、自分自身を恥じ、あなたが私を連れて行ったところから地面に頭を向けます。主なる神様、私は自分の弱さと私の不信仰を恥じています。主よ、それを許してください。勇気をください。全ての勇気を与えてください。

モーセのように、私たちは皆、出かけていると感じています。誰一人残したくないのです。主よ、私たちは全員を連れて行きたいのです。彼らはあなたのものです。私はあなたのためにそれらを主張します。主よ、今日この人々を祝福してください。それを認めて下さい。そして私を祝福してください、彼らと共に、父、そしてあなたの御名はほめたたえられるでしょう。あなたの栄光はあなたのものです。主よ、この永遠の信仰をお与えください。今、あなたに私達自身を聖別してください。

113 私に、この聖書とこの立ち位置を超えて、主よ、あなたに私の命を捧げます。私はあなたが与えて下さるあらゆる約束にかかっているのです。私は彼らが確認されることを知っています。私は彼らが真理であることを知っています。これらの言葉を話す勇気をください。勇気を与えてください、主よ。私がする事話すことにおいて導いて下さい。私はこの教会とともに、主よ、イエス・キリストの御名によって、あなたに身を捧げます。アーメン。

私の信仰…あなたに至るまで
あなたはカルバリーの子羊、
救い主神;
祈っている間、聞いてください
私の罪をすべて取り除き、
オーこの日から私をさせてください
完全にあなたのものにさせて下さい!

さて、私たちはそれをハミングしている間、本当に静かに立ちましょう。[ブラナム兄弟と会衆はハミングをし始めます、私の信仰はあなたを見上げます一編集。]

…あなたに、
あなた子羊…

今すぐ彼に手を挙げましょう。
オー救い主…

今すぐ神にあなた自身を聖別してください。
さて、祈りながら聞いてください
私の疑いのすべて取り除いて下さい、
オこの日から私をさせてください
完全にあなたのものにならせてください!

114 さて一緒に手をあげましょう。[会衆はブラナム兄弟の後にこの祈りを繰り返します一編集。]主イエス、[主イエス]私は今あなたに聖別し、私はあなたに聖別し、奉仕の命、奉仕の人生、より純粋に、より純粋に、より多くの信仰、私は私が来た人生において、私が持っているよりも、私はより受け入れられるしもべであるかもしれないことを、より多くの信仰、私は泣きます。されている人生で。[過ぎ去った命の中で。]私の不信仰を許して、[私の不信仰を許してください]そして、かつて聖徒を解放された信仰[信仰]に私たちを回復させてください。[それはかつて聖徒に届けられた。]私はイエス・キリストの御名によってあなたに自分を捧げます。[イエス・キリストの御名によって。]

さて、頭を下げます。
人生の暗い迷路を踏みながら
そして私の周りの悲しみが広がりました、
あなたがわたしを導いてください。
暗闇が日に入り込むように、

私の全ての恐れを洗い流して
私も迷わせない
あなたから離れて。

115 頭を下げた今。あなたは朝のメッセージがあなたに良いことをしたように感じますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]あなたに勇気を与えますか？[「アーメン」もしそうなら、「神よ、あなたに感謝します」と言って、神に手を挙げてください。[「神様、感謝しています。】両手を上げたのは、それが私を助けてくれたと感じているからです。それは私に勇気を与えてくれます。

私が言いたいいくつかのこと、私はそれを言うつもりはないと思っていましたが、それはすでに言われました。それは私への叱責でした。私は自分が思っていた方法ではないことに気づきましたが、自分で話すのではなく、いつも叫んでいることに罪があることに気づきました。

神よ、この時間以降、私をもっと聖別された僕になることを助けてください。

祈るのは私だけではありません。また、私はあなたのために、約束された土地のために準備された世界から呼びかけられたキリストの体として、神が私に道を話す勇気を与えて、あなたがしないことを明らかにすることをあなたのために道を逃さないようにその道を清めて下さるように祈ります。お伝えします、神の恵みによって、私たちの前に行った彼の血の足跡をたどります。

そして私が背負う聖別された十字架。
死が私を解放するまで、
そして、冠を身につけて家に帰る、
私には冠があります。

私たちはこれを、あなたの御子であるイエス・キリストの御名によって、聖別して下さったあなたに捧げます。アーメン。

[ある兄弟は別の異言で話し始めます。テープ上の空白のスポット— 編集。]

116 これを主に感謝します。聖別された人生を歩みます。やさしさ、謙虚さにあなた自身を捧げて下さい。御霊の中を歩んでください。歩く、話す、服を着る、クリスチャンらしく振る舞う、謙虚で優しく。これを失敗しないようにして下さい。神の声はみことばを通して語り、賜物を通して語ります。賜物が来ると、別の賜物がそれを表現し、別の賜物が来て同じことを表現しています。ほら、それは確かに御言葉によってその時代に正しくしているのです。神は私たちと共におられます。どれほど私たちはそれを彼に感謝しているのでしょうか！今私たちの場合…

頭を下げて、もし姉妹が私たちにコードをくれるなら：
イエスの御名を持って行きましょう、
すべての罫への盾として。
そして、あなたの周りに誘惑が集まるとき、
ただその聖なる御名を祈りで呼吸してください。

ただ、ただそれをし、みことばを話し、彼の名前で話さない。解散する間、私たちと同じように歌いましょう。

イエスの御名をお持ちください、
盾として…そして悲しみ。
それは喜びと慰めがあなたに与えるでしょう、
ああ、どこにでも持って行ってください。
尊い名…

さて、お互いに握手して、「私はあなたのために祈ります、兄弟、そしてあなた方は私のために祈って下さい」と言いましょう。

…天国。
尊い名、尊い名、なんて優しい！
地の希望、天の喜び…

頭を下げて、次の節を歌いましょう。
イエスの御名をお持ちください、

すべての罫への盾として。
誘惑があなたの周りに集まるとき、
祈りの中でその聖なる御名を呼吸してください。
貴い名、貴い名; なんて優しい! なんて優しい!
地の希望、天の喜び。
貴い名、なんて優しい!
地の希望、天の喜び。

117 私たちの頭を今下げ、私たちの心はイエスが言った悟りをもって、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした彼を信じる者は永遠のいのちを持ち、裁きに來ないが、死から過ぎ去った命に」神の恵みによって、私たちは胸の中にそれを持っていることを知っています。今朝彼に聖別することで、私たちの命はこの日から変わり、私たちの思考はよりポジティブになるでしょう。私たちはそのような優しさと謙虚さの中で生きようとしています。それは、私たちが神に求めることは神が一人一人に与えてくれると信じているからです。そして、私たちはお互いに邪悪なことを話したり、人に話したりしません。私たちは敵のために祈り、彼らを愛し、私たちに悪いことをする彼らに良いことをします。神は誰が正しいか間違っているかの裁判官です。…

これに基づいて、そして私たちの頭を垂れ、私は良き友人であるリー・バイル兄弟に、彼が聴衆の解散のために祈りの言葉を言ってくれるかどうかを尋ねます。バイル兄弟。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7